

日整広報 はつらつ

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌
www.shadan-nissei.or.jp

VOL.226
MAY 2014

5



巻頭言 巨動…副会長 萩原正和

- ◎本流 §2. 柔整を取り巻く環境変化と対応 会長 工藤鉄男
- ◎全国都道府県会長会報告
- ◎平成25年度税務経営実態調査報告
- ◎モンゴル国立医科学大学との間に協定書を締結
- ◎柔整サロン 「教えることは教わること」—それが指導の原点 大石 康
- ◎学術シリーズ 肩関節脱臼整復法における一考察

●目次

● 巻頭言 巨動…副会長 萩原正和	1
● 理事会だより	3
● 厚生労働大臣から感謝状を受賞	6
● 本流 § 2. 柔整を取り巻く環境変化と対応 会長 工藤鉄男	7
● 全国都道府県会長会報告	9
● 平成25年度税務経営実態調査報告	12
● モンゴル国立医科学大学との間に協定書を締結	14
● 「はつらつ！健康 “骨つぎの知恵袋”」新聞連載終了のお知らせ	16
● 柔整サロン 「教えることは 教わること」—それが指導の原点	17
● 会務執行状況	23
● 周年記念式典の開催日・平成26年度日整主催学術大会一覧	25
● 第22回柔道整復師国家試験合格者状況	26
● 学術・生涯学習講習会開催のお知らせ	26
● 第41回日整親善ゴルフ大会開催のご案内	27
■ 都道府県だより 私たち柔道整復師は全国各地で活躍しています	30
北海道 関東地域 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 北信越地域 石川県 東海地域 愛知県 近畿地域 滋賀県 兵庫県 中国地域 岡山県 四国地域 香川県	
● ちょっといい話 伊勢神宮内宮 宇治橋の日の出	46
■ 学術シリーズ (第21回) 肩関節脱臼整復法における一考察	47
● 本の紹介 パズル・パレス	49
■ 学術大会会員発表動画配信	50
● 投稿	
「第2回終末期医療に関するシンポジウム」に参加して	52
学制改革を望む	53
マルアライメント改善にデバイスの活用	54
● 私の夢 30歳からの出発	57
■ 平成25年度柔道整復師養成学校優等卒業生一覧	58
■ 日整文芸	59
■ 編集後記	60
■ 表紙解説	61

●Web Page 日整ホームページ <http://www.shadan-nissei.or.jp/>

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL.226
または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を
クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



巨 動

公益社団法人日本柔道整復師会

副会長 萩原 正和



全国の会員皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

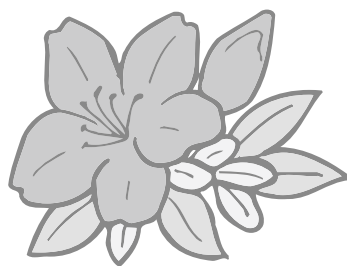
新年度に入り、日整各部がそれぞれ事業に基づく活動を開始いたしました。日整理事会もペーパーレス化のため、iPad持参での会議が始まっております。

2013年6月の日整役員改選により多くのご支援をいただきまして、副会長の重責を担うこととなり早9ヶ月が経過し、工藤会長率いる巨大新執行部体制の下、役員全員で種々各部事業を執り行っているところでございます。日ごろより会員皆様におかれましては、会の運営にご理解とご支援を賜っておりますこと、心より深く感謝申し上げます。公益活動と最重要業務に関する事柄を充実させながら、会員皆様の目に見える状態での実行を執行部全員で目指しております。

皆様の非常に高い関心である第3回柔道整復療養費検討委員会がこの3月18日に開催されました。消費税対応分としての金額が提示され、それぞれの立場で意見交換がなされた結果、4月1日からの初検料が1,335円から115円引き上げて1,450円に、再検料が295円から25円引き上げて320円となりました。日整保険部全員で、以前よりあらゆる角度から検討を十分に重ねてきた結果が実を結びました。厚生労働省から公表された柔道整復等に係る療養費の推移より、平成23年度における柔道整復師の取り扱い額は4,085億円であり、これは平成22年度と比較して0.4%しか伸びておらず、3%消費税が引き上げられるのであれば、実質的な負担増大は確実であると委員会にて説明をして理解を求め、医科同様に課税仕入れに係るコスト増への対応分を療養費引き上げという形で我われの要望が通りました。また、決定後早々に労災施術料金の改定の協議に入っております。

安心安全で質の高い療養費を実現・維持するためにも、行政や保険者の方々に理解していただきたいことが多くあります。引き続き療養費本体の議論・検討を継続し、我われ柔道整復師業界としては、多くの患者さんと国民のため、社会から必要とされる真面目に臨床に携わる多くの柔道整復師の要望を聞き、少しでも前進し改善していきたいと思っており、公益性を視野に入れ業界を代表する日整として歩むべき方向を十分に検討を重ねて進みつつあります。今後、多くの会員の方々の賛同を得ながらご意見もいただき、参考にさせていただきたく存じます。

海外での柔道整復術普及啓蒙活動の一つであります、モンゴル国での外務省JICA支援型事業も日整国際部を中心に活発に活動しており、あと2年を残すところとなりました。国立医科学大学や保健省等との協議を重ね、工藤会長は自らモンゴル国へ出向き新学長との間で再度協定書を締結しました。モンゴル国内で根付くべく、更なる普及の充実となることを願っております。



理 事 会 だ よ り

総 務 部

〈平成25年度 第10回理事会〉

開催場所	日本柔整会館 2 階理事会室
開催日時	平成26年 1 月28日 (火) 午後 1 時 ～午後 4 時30分
理事現在数 及び定足数	現在数19名 定足数10名
出席者	理事19名中19名出席 工藤、木山、萩原 (正)、豊嶋、 佐藤、吉田、松岡、永田、 萩原 (隆)、阿部 (松)、市川、 山崎、伊藤 (宣)、三橋、高崎、 大西、原、伊藤 (述)、富永
理事外の出席者	内山監事
司 会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議 長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

〈会議の概要〉

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数の確認をし、次に、議事録署名人は工藤鉄男会長と内山富之監事であることを確認した。

〈議 題〉

第 1 号議案『通常総会開催日時について』

総務部長より議案について説明があった。通常総会を平成26年 6 月22日 (日) 午後 1 時から日本柔整会館で開催することについて承認可決した。

第 2 号議案『補欠監事について (阿部監事逝去に伴う監事補欠の選任日程確認)』

総務部長より議案について説明があった。平成26年 6 月22日開催の通常総会時に阿部監事逝去に伴う監事を選任することと監事選任スケジュールについて承認可決した。

第 3 号議案『災害見舞金について』

総務部長より議案について説明があった。災害見舞規程に基づき、東京都 (床上浸水 1 件) からの災害見舞申請を承認可決した。

第 4 号議案『平成26年度開催予定の日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会について』

総務部長より議案について説明があった。原案要項のとおり平成26年10月13日 (月・体育の日) に講道館において開催することを承認可決した。

第 5 号議案『形競技会を推進するための助成を各地区 (15柔道ブロック) 主管県毎に実施するかについて』

総務部長より議案について説明があった。少年柔道形競技会における各地区予選会実施主管県に 5 万円助成することを承認可決した。

第 6 号議案『平成26年度日整主催学術大会開催県について』

総務部長より議案について説明があった。平成26年度各地区学術大会の開催時期等について承認可決した。

第 7 号議案『日整会長学術賞受賞者の推薦について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、富山県の前原征一会員、石田幸弘会員、静岡県伊藤博記会員の日整会長学術賞推薦を承認可決した。

第 8 号議案『富山大学大学院「寄附講座」の検証について』

総務部長より議案について説明があった。富山大学大学院「寄附講座」における担当理事を高崎光雄理事、酒井重数学術部員をアシスタントとすることを承認可決した。

第 9 号議案『理事会会議形式 (ペーパーレス) について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、ペーパーレスに伴う Ipad の通信費を利用者負担とすることについて承認可決した。

第10号議案『機関誌「日整広報」と健康情報誌「はつらつ」との合冊について』

広報部長より議案について説明があった。平成26年 3 月号から合冊とすることを承認可決した。

第11号議案『モンゴル健康科学大学との協定について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、モンゴル国立健康科学大学との協定書について確認し、日本語版と英語版を作成すること、昔の協定書（2006年1月28日締結）は破棄することを承認可決した。

第12号議案『顧問の推薦について（鹿児島県）』

総務部長より顧問推薦について提案があった。審議の結果、鹿児島県推薦の参議院議員尾辻秀久先生を本会顧問に推戴することを承認可決した。

第13号議案『その他』

学術部長より生涯学習単位取得要項改正案について説明があった。原案どおり承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 平成26年度事業計画・予算案作成進捗状況について
- ② 要請書の発出について
- ③ 「柔道整復療養費検討専門委員会」委員の交代について
- ④ 予算管理月報 12月報告
- ⑤ 平成25年度 税務経営実態調査報告
- ⑥ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師および柔道整復師の業及び施術所に関する広告について
- ⑦ 富山大学大学院寄附講座について
- ⑧ 日整主催学術大会の案内文書の送付について
- ⑨ 日整執行部とモンゴル国立健康科学大学との意見交換会 会議録
- ⑩ 各部会からの報告
経理部会報告
学術部からの報告事項について
「日整広報・はつらつ」合冊案の検討における制作費用比較

〈平成25年度 第11回理事会〉

開催場所	日本柔整会館 2階理事会室
開催日時	平成26年 2月27日(木) 午後1時～午後4時30分
理事現在数及び定足数	現在数19名 定足数10名
出席者	理事19名中18名出席 工藤、木山、萩原（正）、豊嶋、佐藤、吉田、松岡、永田、萩原（隆）、市川、山崎、伊藤（宣）、三橋、高崎、大西、原、伊藤（述）、富永
理事外の出席者	内山監事
司 会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議 長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

〈会議の概要〉

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数の確認をし、次に、議事録署名人は工藤鉄男会長と内山富之監事であることを確認した。

〈議 題〉

第1号議案『平成26年度事業計画最終確認について』

総務部長より平成26年度事業計画書について概要説明があり、原案を承認可決した。なお、広報部長より合冊広報誌の名称を「日整広報はつらつ」とする提案があり、これを承認可決した。

第2号議案『平成26年度収支予算について』

経理部長より、収支（損益）予算書と事業別予算内訳書等について説明があった。審議の結果、原案を承認可決した。

第3号議案『内閣府への平成26年度事業計画書等に係る提出書について』

総務部長より議案について説明があった。第1号議案および第2号議案で承認された事業計画書、収支予算書、そして資金調達および設備投資の見込みを記載した書類に本日の議事録と併せて、内閣府に提出することを承認可決した。

第4号議案『会費未納者の除籍手続きについて』

総務部長より会費未納により会員資格を喪失する会員の除籍手続きについて重点説明があった。審議の結果、3月末日までに会費を納入しない会員の除籍について承認可決し、各県社団を通じて除籍予告書を発出することにした。

第5号議案『優等卒業生の表彰について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成25年度、養成施設74校から推薦のあった優等卒業生の表彰を承認可決した。

第6号議案『講師派遣依頼について(山形県)』

総務部長より議案について説明があった。山形県からの講演依頼(平成26年5月17日)について、工藤鉄男会長の講師派遣を承認可決した。

第7号議案『全国都道府県会長会について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、原案次第のとおり承認可決した。

第8号議案『研修試験財団 理事候補者推薦について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、研修試験財団の理事として、萩原正和副会長と豊嶋良一理事を推薦することで承認可決した。

第9号議案『研修試験財団各種委員候補者の推薦について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、研修試験財団の各種委員として、認定実技審査委員会3名(木山時雨、豊嶋良一、山口登一郎)、卒後臨床研修委員会3名(吉田充孝、松岡 保、原 正和)、健康柔体操推進委員会4名(大西辰博、竹内 康、粕谷泰右、井澤津久夫)を推薦することを承認可決した。

第10号議案『接骨医学会 理事候補者の推薦について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、接骨医学会の理事として、木山時雨副会長を推薦することを承認可決した。

第11号議案『顧問弁護士の委嘱について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、志田康雄氏を顧問弁護士として委嘱することを承認可決した。

第12号議案『職員採用について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、宮澤清和氏を事務局長として採用す

ることおよび3ヶ月の試用期間を経過した山内敏嗣参事を本採用とすることを承認可決した。

第13号議案『日整と各県社団との協定書について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、原案の協定内容を承認可決した。

第14号議案『日整支払基金準備室の立ち上げについて』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、日整支払基金準備室の立ち上げについて承認可決した。

第15号議案『勤務柔道整復師の登録について』

総務部長より議案について説明があった。登録した勤務柔道整復師の位置付け等について検討し、名称を「日整登録勤務柔道整復師」とすることおよび3月23日の全国都道府県会長会の場で説明することを承認可決した。

第16号議案『災害対策について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、原案の災害時組織図および災害派遣柔道整復チーム(DJAT(デジャット): Disaster Judotherapist Assistance Team)の設置を検討することについて承認可決した。

第17号議案『産経新聞掲載記事の冊子作成について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、冊子は全会員分を作成・配布し、増刷用に全国社団へCDデータを配布することを承認可決した。

第18号議案『その他』

保険部介護対策課より、各行政への説明用として、地域包括ケアシステムのリーフレット作成について説明があった。審議の結果、リーフレット作成について承認可決した。

〈報告事項〉

① 職務執行状況について

会長(工藤鉄男)、副会長(木山時雨・萩原正和)、理事(豊嶋良一、佐藤金一、吉田充孝、松岡 保、永田官久、萩原隆、市川善章、山崎健司、伊藤宣人、三橋裕之、高崎光雄、大西辰博、原 正和、伊藤述史、富永敬二)より、前回報告以降の事業計画に沿って行った自己の職務の執行状況について報告があった。

- ② 年度末の在籍会員報告のお願い
- ③ 補欠監事選任の日程について
- ④ 柔道大会等について
- ⑤ 第1回JIMTEF 災害医療研修アドバンス
コース受講者報告
- ⑥ 平成25年度「認知症サポーターキャラバン
報告会」について
- ⑦ 理事会議事録
- ⑧ 介護班の活動協力について
- ⑨ 公認私的研究会の廃止届について
- ⑩ 日整主催学術大会について

- ⑪ 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・
普及プロジェクトについて
- ⑫ ベトナム国際セミナーの共催のお願い
- ⑬ 事務局の人事について
- ⑭ 各部会からの報告
公益社団法人移行状況
予算管理月報 1月報告
厚生労働省保険局医療課と保険課担当者
との協議について
富山大学大学院寄附講座について
「よく学びよく遊べⅢ」各県注文冊数

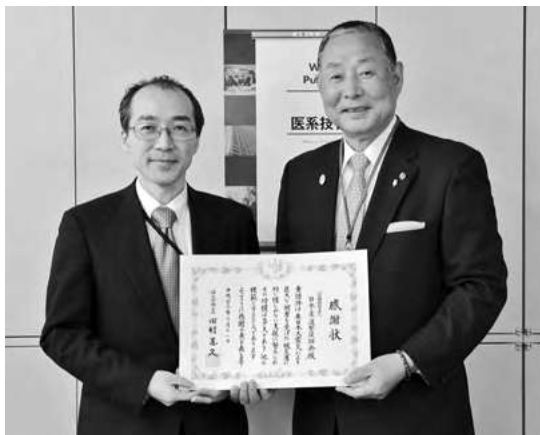
厚生労働大臣から感謝状を受賞

総務部

厚生労働省では、今年度も昨年度に続き、平成23年3月に発生した東日本大震災における被災者の支援活動等を行った団体に対して、その功労に報いるため厚生労働大臣より感謝状を贈呈することとなり、今回は医政局、健康局、医薬食品局、社会・援護局の所管事業に貢献をした団体として、日本柔道整復師会も受賞いたしました。

この受賞は本会会員の福島県・宮城県などでのボランティア救護活動の功績を評価されたものであります。

4月11日厚生労働省で感謝状の贈呈があり、本会の支援活動に対する感謝の意として、医政局の北澤医事課長から直接、工藤鉄男会長に感謝状が手渡されました。



本流

会長 工藤 鉄男

§2. 柔整を取り巻く環境変化と対応

現在の日本は、治安が良く平和な国であるといわれています。しかし、少子高齢化による人口構造の変化に加え、他国の事情や外交の話題、また決定権をもつ著名人のたった一言によってさえ乱高下する市場の煽りをもろに受ける経済の仕組みから、デフレや経済低迷が長く続いています。別の見方をすれば、今後この国をどのようにして安定させ維持していくのかという方法を今も必死に模索し続ける「混乱状態」の国ともいえるのかも知れません。そして、それは刺激を好む過度な報道によって作り出された世論に国民が右往左往させられた結果、数年ごとに政権交代が繰り返されてしまう現状からも明らかでしょう。不況下の国民が求める「生活安定」を実現するため、政府は財政の見直しを急務とし、国家予算の大半を占める社会保障改革を進め、医療費のみならず、我が柔整業界においても療養費制度の見直しが求められています。

そうした中で、前号では個人契約者をも含めた業界全体を柔道整復師自らが、しっかりとコントロールできる仕組みを改めて構築しなければ、柔整業界やそこに通う患者さんたちの施術現場事情に関係なく、国家予算という経済的な視点のみを軸とした改革が進められることになるという話をしました。しかしその一方で、残念ながら自らが置かれた立場や状況を正しく理解しないばかりか、そうした現実を知ろうともせず“どこ吹く風”とばかりに、ただ営利に走り何の危機感も持たない柔道整復師が非常に多いこともお伝えしました。このまま業界が結

束できなければ、荒れ狂う市場経済や資本主義というお金の流れが最優先される中で、柔整施術の本来の価値を示し、それを必要としている国民のために正しく機能する仕組みを維持することは叶いません。

そこで今号では、我われ柔道整復師を取り巻く環境の変化とそこへの対応の重要性についてのお話をしたいと思います。我われを取り巻く環境の変化は、今や少子高齢化、デフレ、アベノミクスや消費税だけではありません。時代の激変振りは年々加速し、我われは知らぬ間に激流に大きく流され始めています。それは、身近で他愛のない些細な事柄から、時には国家や政権すらも転覆させてしまうほどの力を持つ「情報」というシロモノです。21世紀に入り「IT革命」という言葉が使われて久しいですが、今は、インターネット、ツイッター、フェイスブックといった用語が飛び交っています。それらSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）という電子情報網は、事の大小や善し悪しを度外視して、これまで国家や組織によって管理統轄されていた何らかの規制をもすり抜け、素性も明かさないう架空のデジタル人格の個人によっても発信され、それが瞬時に世界中を駆け巡るという仕組みです。しかも、内容の真偽やモラルを問われることなく、一度オンライン上に掲載された情報は、コンピュータの世界では完全に消去されることはありません。必ずネット上のどこかに痕跡を残し、誰かの手で復元が可能です。誰が書いたかも、その真偽すら不明なコ

メントを取り消すことすらできない状況は実に恐ろしいことです。例えば、柔道整復師や接骨院について、何の裏付けもない偏見に満ちた中傷意見がインターネット上に書き込まれたなら、それが事実であるかどうかに関係なく、その内容はネットワークの広がりを通じて、真実を知らない多くの人たちを惑わし続けてしまうのです。また、昨今の「グローバル化」という流れは、既存の壁を突き抜け、情報や品物を驚異的なスピードでの移動を可能にし、そこから得られる利益を飛躍的に増大させ、その連鎖が人々の欲望に拍車をかけます。しかし、それらは住み慣れた土地や地域に永くつなげてきた固有の地域特性、言葉や習慣、文化といった、ある意味でその場所や生活に積み上げられてきた土着性やアイデンティティを守る“防風林”のようなものさえをも瞬時に飛び越えてしまいます。それは、新たなイノベーションの可能性を高めそうですが、同時に、人間の最も大切な「心の原型」すらも破壊しかねない劇薬のようなものでもあると感じています。

このような話を聞いても「何のこと？」と、柔道整復師とは無関係だと感じる人も少なくないと思います。私自身もコンピュータにはあまり詳しくはありませんが、我われが地域の人たちの痛みを緩和せ、怪我を治すことを生業とし、地域に根ざした活動をし続けていくからには、地域住民やコミュニティに押し寄せている現実の環境変化を無視しては成り立ちません。すべてがつながり、関係し合っています。今分からないからと目をつむったことで数年後に災いとなる可能性があるのなら、我われはそれを放置すべきではありません。振り返れば、平成21年の「事業仕分け」で「柔整療養費は国民医療費の伸び率を上回る」等の指摘に始まった問題は、その後の会計検査院報告、厚労省からの通知、メディアによるバッシングへと繋がりました。厚労省が毎年発表する「柔整療養費」ですら「推計」でしかありません。ネット社会で発信せられた情報は正確なものばかりではありません。更に経営悪化が続く保険組合では、患者の個人情報^さを危険に晒してまで、受診抑制につながるような行き過ぎた患者照会を営利企業に委託し始めています。情報の中から限られた部分のみを切り取って宣伝されるイメージは、

真実ばかりではなく、別の意図によって故意に編集された部分があり、それは転がすごとに雪ダルマのように巨大化し“安心して安価で受けられる柔整施術”を心から必要としてくれている地域住民にとっての利益を奪い、我われが目指す「国民のため（公益）」という方向性を邪魔するものともなり得ます。そこに関心をもたずに放置し先送りすれば、最終的には国民の利便性を重視して創られたはずの柔整療養費・受領委任制度の根底をも揺るがすことにつながっていくことになるでしょう。我われの「志」の本質を変えずに、大切なものを守りつなげるためには、我われにも時代に合わせた柔軟な環境対応力が必要となります。

昭和11年、先達の英断によって「協定」が締結されて以来、柔整の受領委任協定は何と77年もの長い間まったく修正がされていません。如何なる制度や仕組みも時代に^かあわせて修正する必要があるわけですが、それらがどのように作られ、如何にしてこれまで維持されてきたのかという歴史や経緯があることをも十分に踏まえ、核心を守りながら適切な修正を加えねばなりません。

そして今、我が業界内には【協定】によって「一定に管理され続けてきた社団」と、【契約】による「爆発的に増殖する個人」という二つの受領委任制度が並存しており、制度疲労による弊害はもはや否定できません。何も見ず、聞かず、何も知らずとしなければ結局は何も守れません。積極的に外部意見に耳を傾け、社会のニーズに注目し、それに応じた協定の修正をする必要があります。もちろん、業界内のすべての人が100%同じ情報や知識、認識を持つのは困難でしょう。しかし、「どうせ無理！」をやめ、あえて実現を目指します。そのためにも可能な限り素早く「正確な現状把握」をし、広く平等に「情報公開」を行い、業界内で正しい「情報共有」を実現させ、進むべき方向性を統一し結束しなければなりません。

今、日整が真剣に進めている柔整の「伝統」の保持と「改革」推進は、切り離すことのできない表裏一体のものなのです。

全国都道府県会長会報告

広報部

日整は、平成26年3月23日(日)午後1時から日本柔整会館で全国都道府県会長会を開き、経理部から「平成25年度税務経営実態調査報告」(記事は経理部の担当者により別掲)、顧問税理士の徳重寛之先生による「平成26年度税制改正大綱」の講演と各部報告を行った。

税制改正について学ぶ

木山時雨副会長の開会の辞で始まり、工藤鉄男会長は挨拶の中で、新執行部が誕生して9ヶ月経ちましたが、今の執行部は「やらないよりもやるリスクを拾う」ということで、いろんなところに手を差し伸べているところだと述べた(要旨別掲)。



顧問税理士の徳重寛之先生は「平成26年度税制改正大綱」と題して、個人の所得税では給与所得控除が見直され、企業は減税、個人は増税

が一応の方向性であると前置きし、本題に入られた。

いよいよ平成26年4月1日から消費税が上がり、今回の税制改正大綱の中で、軽減税率の導入をうたい、今年の12月ころまでにこの軽減税率が導入される可能性があります。食料品などについて、安い税率を掛けていこうというのが軽減税率だと説明された。

この軽減税率と消費税の見直しに伴い、これから新しい表示が出てきて、今までは総額主義で本体がいくらで消費税がいくらとなっていますが、来年の10月から消費税が10%になることが予想され、短期間に何回も変わっていきますので、値札を付け替えるのが大変とか、事務の効率を図るために、税抜き表示が認められました。ある一定の要件ですが、皆さんが物を買ったときに、いろんな表示が出てくるとしますので、ぜひ惑わされないように注意が必要とのことである。

次に「〇〇円(税抜き)」、普通だったら「プ

ラス税」とか何とか書いてありますがこれもいいと。「〇〇円」、本体だけの価格、これは税抜き、これは税別というもの「〇〇円(本体)」という表示が出てきます。今まではお目にかかれなような表示ですが、それも注意が必要だと思います。と例を示された。

昨年「今回の税制改正はかなり適用期日がばらばらです」ということをお話しましたが、今年度、平成26年度以降に施行される改正で、個人の所得税が改正になり増税です。金融所得の課税方法が変わります。住宅ローン減税の拡充があります。復興支援のための税制があります。今話題になっている相続税が変わり、平成27年1月1日以降の相続から変わりますと説明された。

贈与税についても、平成27年1月1日以降に見直される。平成26年4月1日以後、印紙税の適用が3万円未満から5万円未満に変わります。社会保険診療報酬の所得計算の特例の改正で5,000万以下に適用されていましたが、平成26年分の所得税から7,000万以下に改正され、少し厳しくなった感じがしますと述べられた。

いよいよ日本も消費税に頼る税制になってきます。柔道整復師の実態調査を見ても、急激に皆さんの経営が苦しくなっている感じが非常にします。やはりここは皆さんが団結して、いろいろな点で、柔道整復師が世の中にもっと認知されるような運動を続けていっていただければと思いますと結ばれた。

コンプライアンス委員会の始動

次に、各部報告が行われた。まず、豊嶋良一総務部長から組織強化として、有識者の相当精通している先生方で、コンプライアンス委員会を立ち上げて活動を始めている。公益社団法人の新協定は、厚生労働省と公益社団法人として

新協定を結ぶということで新しい形になると報告した。次に卒後臨床研修の制度化は、学校協会と一緒に提出した旨を報告した。続いて、組織強化の一環として、日整登録勤務柔道整復師制度に3,500人が登録したことを報告した。

佐藤金一経理部長は、26年度予算は理事会で承認されたことを報告。収入の部では、新入会員600人、会員17,000人と見て算出。支出の部については、公益活動の支出、管理費支出を説明し、収入に見合う事業活動の観点で、均衡の取れた予算編成に留意している旨を述べた。

吉田充孝保険部長は、療養費算定基準の一部改正について、今回の改定率は0.68%で、初検料1,335円を1,450円に、再検料295円を320円に改め、本年4月1日以降の施術分から適用する旨を報告した。続いて、損保協会主催の柔整セミナー、これは各県において損保協会の担当者が柔道整復師の療養費、交通事故の扱いについて、あまり理解していない方が多くて、非常に

トラブルが生じている。損保協会自ら日整の方にお問い合わせに来て、柔道整復師にかかる自賠責の請求等をご指導いただきたいということで、今、セミナーを開催している。まず関東を中心に実施して、全国に波及していただきたいと報告した。

大西辰博学術部担当理事は、公益社団法人日本柔道整復師会学術大会規程について、研究発表投稿要項（案）は、日整と、各ブロックの規程に合わせて使うように、また日整の規程に合わせるができるようであれば変更のほどをお願いしたいと述べた。次に会計処理における注意点、学術大会終了報告書、原稿、講演等の利用承諾については、大会終了後に提出していただきたいと要望した。

永田官久広報部長は、従来の日整はつらつ！と日整広報誌を3月号から経費削減を大前提に合冊し、公益・共益問題想定の中で発刊している。日整広報としては、今の執行部の動きに合わせた活動をお知らせしたいと考えており、全

会長挨拶の要旨

■信頼関係を取り戻す



今の執行部は、日本柔道整復師会始まって以来の危機感を持って対応しています。私が選ばれたときに、皆さんに約束した「信頼関係を取り戻す」ということで、いろんな文書を出しました。その中で三つの信頼を取り戻すには「保険者の信頼を取り戻す」「行政の信頼を取り戻す」なおかつ「国民の信頼を柔道整復師として取り戻す」これが主たる目的でスタートしました。

そのために何をしたらいいかということで、総務部長に聞いたところ、そういう行動を起こすためには事務局がしっかりしなければいけないということで、事務局の改革を指示したところです。ものの見事に総務部長は手腕を発揮し、事務局の改革を成して、新しい事務局長が就任いたします。この事務局長は、

我われが足元にも及ばないような大きな団体で局長を務めた人で、特別にこちらに来ていただくことになりました。

事務局の充実が見えてきたところで、この業界のいろんな問題をやっていくには、法的根拠の問題などいろいろありますので、コンプライアンスプロジェクトチームを作りました。これには四つの柱があります。一つは、皆さんの努力によって新公益法人法に則って公益法人を取得したわけですから、新しい協定の見直しをするという大きな柱が一つあります。支払い基金という柱を立てて、大同団結に持っていこうという狙いを込めた、この支払い基金の研究・調査、これが二つ目です。三つ目は、新聞等で問題のあるマスコミ対策。四つ目は学校の問題で、専門学校が乱立して大変な問題だということで、どのような手を打ったらいいのか調査・研究し、これを解決するためにどうしたらいいのか、文科省の方をこのプロジェクトチームに入れて、今研究しているところです。

■料金改定の問題

3月18日の専門委員会で国からの料金につ



国の会長先生、会員の先生方のご協力をぜひともよろしくお願いしたいと述べた。

萩原隆国際部長の報告では、日整とモンゴル国立医科学大学との間で柔道整復術普及に関する新協定を結んだ。今後、両者間で、国の保険制度の中に柔道整復術が組み入れられるように活動していきたいと思っていると述べた。続いて、本間琢英国際部員より、現在 JICA の支援を受け、モンゴルで実施しているプロジェクト

も残すところ2年余りとなった。よって、本日は活動報告というよりも、特にモンゴルでの活動を中心に、それに対する外部評価、また、この活動が業界や日整、さらに会員にどのような成果をもたらす可能性があるのか、そして、JICA プロジェクト終了後はどのようなようになるのが理想的かについて、8年間の経験を踏まえて、詳しく報告があり、萩原正和副会長の閉会の辞で終了した。

いて発表になりました。これについても、我われは単なる日本柔道整復師会だけがよくなればいいというのでは闘えない状況です。我が業界は、100、200ともいわれている請求代行業、個人契約の人たちが、1万7千名の柔道整復師よりも多いのは事実です。存在することを認めながら、これを何とかうまくやっていこうということで、この専門委員会については、我われに、日本柔道整復師会に権限を与えていただいて、2名の個人契約を選ばせていただいたところです。

これは、政治家の前で、政治家の人に、しっかりと厚労省に連絡していただいて「日本柔道整復師会の会長に一任」ということで取り付けて、前回の専門委員をそのまま継続にしました。今回の柔道整復療養費改定は、消費税分ということで初検料、再検料がアップし4月から執行されて、そして、条件が何も付けられない。例えば3部位目を所定料金の100分の50にするとか、そういう付帯事項を排除した中でスタートすることだけは覚えていただきたいと思います。

■在宅医療と介護保険の見直し

平成28年度の在宅医療と介護保険の見直しが始まっています。この在宅医療については、厚生労働部会議で、柔道整復師も専門職として名前を入れながら議論され、法制化に向けて進めています。ここで皆さんにお願いしたいのは、この分野においては、これから地方分権が進んでいく中で、県の知事が大きな権力を握ることを覚えておいてもらいたい。

そして、消費税の増税分、この分野の増税分について新しい支援をその増税分で行っていく。これを決定するのは、各県でこの動かし方のテーブルを作って、社会保障の専門的なドクターの方たち、当然、柔道整復師の皆さんの運動の仕方によってはそこに入れる可能性があることを考えてもらいたい。

そこで議論されたプログラムが、県の医療のプログラム、そして、そのプログラムに対して新しい支援がスタートしていくということです。医師会も地区医師会で今その検討に入っているところです。日本医師会は各地区で代表を決めて、そこで参加するすべての医療職員をコントロールしていくという研修会をしていますので、その辺も情報収集しながら対応してもらいたいと思っています。

平成25年度税務経営実態調査報告

経理部員税務経営担当 竹藤 敏夫

平成26年3月23日(日)、午後1時から日本柔整会館2階大会議室にて全国都道府県会長会が開催され、経理部から平成24年分の税務経営調査の結果を取りまとめ報告いたしました。各県からの調査報告を精査し、平成24年分の保険取扱総金額・保険取扱総件数・ブロック別一人当たりの取扱金額・取扱件数・一件当たりの金額・日整会員数の推移を作成し発表しました。

ブロック別保険者別取扱総金額

保険取扱総額	154,673,671,019円					
保険者別取扱率	協会けんぽ	組合健保	国民健保	後期高齢	共済組合	労災保険
100%	24.9%	9.1%	34.7%	25.3%	5.5%	0.6%

(単位：%)

ブロック名	会員数	保険取扱金額(円)	協会けんぽ	組合健保	国民健保	後期高齢	共済組合	労災保険
北海道	852	5,641,683,038	27.6	6.7	33.5	24.7	6.8	0.7
東北	1,383	10,343,357,069	25.7	9.2	33.2	25.3	6.0	0.6
関東	3,445	30,730,479,129	17.9	13.7	39.3	23.4	4.5	1.2
東京	1,387	14,140,742,829	12.9	16.1	37.6	28.2	4.0	1.2
北信越	1,864	15,363,737,981	26.2	8.5	34.2	26.3	4.5	0.4
東海	1,634	15,433,647,253	22.3	12.1	34.2	26.4	4.2	0.8
近畿	1,551	15,415,988,232	23.4	10.0	35.2	25.2	5.3	0.8
大阪	1,951	20,242,971,113	22.2	9.4	37.1	27.2	3.7	0.4
中国	642	6,192,115,713	28.2	7.7	32.7	25.4	5.8	0.2
四国	444	3,591,398,071	29.4	4.6	32.7	26.7	6.6	0.1
九州	1,644	17,577,550,591	28.9	5.7	33.6	24.5	7.2	0.2
計	16,797	154,673,671,019	24.9	9.1	34.7	25.3	5.5	0.6

ブロック別一人当たり取扱金額

	(24年)	23年	22年		(24年)	23年	22年
北海道	662 (▲33)	▲16	▲32	近畿	994 (▲69)	▲60	▲67
東北	748 (▲38)	▲41	▲25	大阪	1,038 (▲104)	▲127	▲125
関東	892 (▲46)	▲37	▲34	中国	965 (▲38)	▲23	▲10
東京	1,020 (▲47)	▲49	▲64	四国	809 (▲63)	▲39	▲20
北信越	824 (▲54)	▲27	▲39	九州	1,069 (▲102)	▲15	▲44
東海	945 (▲56)	▲38	▲43	全国平均	920 (▲60)	▲48	▲49

単位 万円・() は前年比

日整会員数および会員一人当たりの件数と金額の推移

年次別推移表				1人当たり件数／金額／1件当たり金額		
年 度	会員数	件 数	金 額 (円)	1人当たり件数	1件当たり金額	1人当たり金額
平成21年分	16,334	20,738,223	176,150,241,822	1,270	8,494	10,784,269
平成22年分	16,682	20,554,297	171,543,410,021	1,232	8,346	10,283,144
平成23年分	16,786	20,275,599	164,628,755,398	1,208	8,120	9,807,504
平成24年分	16,797	19,652,324	154,673,671,019	1,170	7,871	9,208,410

療養費取扱高比較表

金額区分	該当会員数	24年度率	対前年度率	23年度率	22年度率	21年度率
500万円未満	5,511	32.8%	2.7	30.1%	27.8%	26.0%
500万円超～1,000万円未満	5,640	33.6%	0.6	33.0%	32.5%	31.8%
1,000万円超～1,500万円未満	2,956	17.6%	△ 1.2	18.8%	19.7%	20.6%
1,500万円超～2,000万円未満	1,393	8.3%	△ 0.8	9.1%	9.6%	10.3%
2,000万円超～2,500万円未満	619	3.7%	△ 0.6	4.3%	4.8%	5.2%
2,500万円超～3,000万円未満	305	1.8%	△ 0.3	2.1%	2.5%	2.4%
3,000万円超～3,500万円未満	152	0.9%	△ 0.2	1.1%	1.2%	1.3%
3,500万円超～4,000万円未満	85	0.5%	△ 0.1	0.6%	0.8%	0.9%
4,000万円超～4,500万円未満	40	0.2%	△ 0.1	0.3%	0.3%	0.4%
4,500万円超～5,000万円未満	33	0.2%	0	0.2%	0.2%	0.3%
5,000万円超	63	0.4%	0	0.4%	0.6%	0.6%
	16,797	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

●保険取扱金額の大幅な減少の原因として

1. 柔道整復師の急増、接骨院、整骨院の急増による競争激化
2. 療養費改定時の部位数の通減
3. 保険組合の負傷原因の文書照会による受診抑制
4. 日常生活における怪我の減少、労務災害の安全対策による減少、また学校内の怪我では、整形外科への受診傾向が一段と顕著になっている
5. 高齢者においてはデイサービス施設の急増による影響
6. 保険制度改革による度重なる患者負担の増大による受診抑制

以上のような原因が影響していると思われます。

※今回の税務実態調査に、ご協力いただきました全国都道府県の会長、各事務局の皆様
心よりお礼申し上げます。

モンゴル国立医科学大学との間に 協定書を締結

国際部長 萩原 隆

平成26年2月11日にモンゴル国立医科学大学（旧モンゴル国立健康科学大学）内において公益社団法人日本柔道整復師会（日整）とモンゴル国立医科学大学との間に「柔道整復術の普及に関する公益社団法人日本柔道整復師会とモンゴル国立医科学大学との間の協定書」（Regarding the Promotion of Judo Therapy Japan Judo Therapist Association & Health Sciences University of Mongolia International Cooperation Memorandum）が締結された。

両者間には、2006年1月28日付で調印した「国際交流協定書」があったが、モンゴルにおける日整国際活動の進展とともに、旧協定書は現状を反映したものとは言えなくなり、また、現在JICA（国際協力機構）と共同で行っている現プロジェクト（残り期間あと2年余り）終了後も引き続き、両者の協力体制を維持していくための指針となるべき新しい協定書の作成が望まれていた。

モンゴル国立医科学大学および付属看護大学では、昨年9月の新学期から学長以下さまざまな役職が一新され、新しい体制となった。特に理事長には、前保健大臣、現国会議長アドバイザーであり、政界・業界に大きな影響力を持つ、ランバー・サンブー氏が就任した。

ランバー氏の理事長就任の意義は非常に大きく、日整の最大の目標であるモンゴル国の医療制度の中に柔道整復術が取り入れられ、「モンゴル国各地の医療機関で、継続的に柔道整復術を用いた外傷治療が一般的となる」というプロジェクトの上位目標の達成が一気に現実味を帯びてきたといっても過言ではない。

調印式には、モンゴル国保健省アマルサナ副大臣、モンゴル国文部省エルヒムボルガン氏、在モンゴル日本大使館清水武則特命全権大使、JICA モンゴル事務所加藤俊伸所長をはじめとして、各界から多くのご来賓にご臨席を賜った。

日整からは工藤鉄男会長、萩原正和副会長、萩原隆国際部長、そして本間琢英部員が出席し、厳粛に執り行われた。

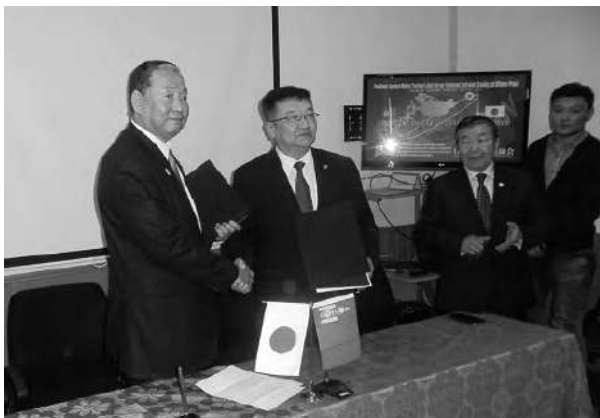


▲協定書にサインする工藤会長とバタバータル学長

バタバータル学長、ランバー理事長より経緯が説明され、工藤会長からは協定書調印の必要性と今後の協力体制の更なる確立についての力強いメッセージが述べられた。更に、保健省副大臣、清水特命全権大使をはじめ多くの方々から、現在に至るまでの日本柔道整復師会のモンゴルにおける真摯な取り組みに対する評価と、今後への更なる期待を込めた祝辞が述べられた。ご来賓の方々の祝辞を拝聴し、これまでのさまざまな活動や出来事が脳裏に浮かび、この活動に対する各界の期待の大きさを改めて感じ、胸が熱くなった。

最初に旧協定書の合意解除文書に調印し、次いで新しい協定書に工藤会長とバタバータル学長がサインし、両者が力強く握手をした。会場は大きな拍手に包まれ、日整のモンゴルでの活動の新たなページが開かれたのを感じた。調印式の模様と工藤会長のインタビューはモンゴル国営放送でも即日放映され、また世界的に有名な動画サイトにも即日掲載され、そのニュース性の高さがうかがわれた。

協定書に調印の後、国際部を中心に編集された柔道整復術の教科書である「CLINICAL JUDO



▲右から2人目がランバー理事長

「THERAPY」の出版契約書にもサインがなされた。この教科書はモンゴル語版を4,000部作成し、モンゴル国の各地で一次的に医療に携わる、バク医師たちを中心に無償で配布する予定である。（「バク」とはモンゴル語で「村」という意味。地方の人たちにとっては、病気やケガをしたときに一番先に診てもらうのがこの「バク医師」となる。）

工藤会長を代表とする日整執行部の今回のモンゴル訪問は三つの大きな意味を持つ。一つは

今後の活動の指針となる協定書の締結であり、二つ目は現プロジェクト後に柔道整復術普及のために不可欠な拠点となる場所についての具体的な話し合いがなされたこと。そして三つ目は日本柔道整復師会のモンゴル国における、今までの活動が内外から非常に高い評価を得ていることを改めて確認できたことである。

最後に、日整のモンゴルにおける活動は、すべての柔道整復師はもとより、日本の国民やこれから柔道整復師を目指す若い人々に伝える必要があると考えた。その理由は、世界的に自然治癒力を利用した「人に優しい治療法」が見直されている現在、途上国のみならず先進国からも柔道整復術導入の希望があるように、我われの技術は現在そして将来にわたり日本にとっても必要な技術であることを、多くの日本国民とこれから柔道整復師を目指す若い人たちに知ってもらいたいからである。

後の外部に向けた広報活動の重要性を付け加え報告とする。



▲国会議事堂内にて



▲清水武則特命全権大使（前列左から3人目）
加藤俊伸 JICA モンゴル事務所所長（前列右から2人目）も交えて記念撮影

「はつらつ！健康 “骨つぎの知恵袋”」 新聞連載完了のお知らせ

日整の社団法人設立60周年記念企画として、柔道整復師の視点から子供・中年・高齢者までの体力づくりや怪我の予防法などを平成25年4月から1年間にわたり、全国紙の産経新聞朝刊生活面へ毎週火曜日に連載し、健康に関する普及活動を行いました。工藤鉄男会長が執筆した「自治体の医療ビジョンに貢献」をもって全掲載が完了となりました。

ご健筆を揮っていただいた会員諸賢の皆様、保険部・学術部・広報部の皆様に心から感謝を申し上げます。お蔭をもちまして一般読者の皆様から「連載記事の本があればほしい」など好評を得た多くの声とお礼の手紙が事務局に寄せられており、国民の健康づくりに一役を果たせたものと確信しています。

現在、日整ホームページから全掲載記事が配信されており、どなたでもご覧になることができますので、ぜひ患者さんにお知らせください。また、1年間の記事をまとめた「はつらつ！健康 骨つぎの知恵袋」の冊子を発行しましたので、待合室などに置いていただければ幸いです。

この連載記事が多くの方々の目に触れ、健康増進や怪我の予防になれば幸甚であり、これを通じて柔道整復師やその業務内容が理解され、より一層身近な地域住民の方々の良き健康アドバイザーの一員になればと願います。

これからも柔道整復師の持てる技術を発揮し、国民の皆様と社会に一層信頼される業界を目指して努力していきましょう。

結びになりますが、1年間連載できました「はつらつ！健康 骨つぎの知恵袋」が成功裏に完了できましたこと、関係各位に改めて衷心よりお礼を申し上げます。

広報部長 永田官久

■「はつらつ！健康 “骨つぎの知恵袋”」全掲載分を日整ホームページから配信しております。

http://www.shadan-nissei.or.jp/nissei/sankei_list-2.html

自治体の医療ビジョンに貢献

はつらつ！健康
骨つぎの知恵袋 ④

日本柔道整復師会60周年

柔道整復師は国家資格で、その多くは接骨院や整骨院を開業し、骨折や脱臼、捻挫、打撲、肉離れなどの施術にあたり国民の健康維持・増進に携わっています。

また、介護保険制度で機能訓練指導員に位置付けられています。これにより、市区町村が実施する高齢者の運動器機能の向上事業に参加している会員も多くいます。そこで



工藤鉄男会長

は体操などの運動療法を指導し、全国各地で質の高い機能訓練も提供しています。

団塊の世代が75歳以上になる平成37年以降は、医療や介護の需要がさらに増加するこ

れ、地域医療に貢献し日本の少子高齢社会対策に大いに役立っています。

柔道整復師は直接患部に触れ心を通わすため、医療に欠かせない良好なコミュニケーションをとりやすくなり、患者さんに親しまれています。私たちは柔道の指導を通して青少年健全育成に寄与してまいりました。これからも伝統の技術を生かして国民の健康を守り、さらに海外の人々の健康にも貢献してまいります。

1年間にわたりご愛読をいただきました皆さまに、心からお礼を申し上げます。
(日本柔道整復師会会長 工藤鉄男)

この企画の問い合わせは、公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16の9
☎03・3821・3511 FAX03・3822・2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>

「教えることは教わること」—それが指導の原点

大石道場
大石 康 八段に聞く

聞き手 公益社団法人愛知県柔道整復師会会長
構成 同広報部長

佐久間稔晴
長谷川貴一

少年少女の柔道大会において、“全国”の冠のつく大会をすべて制した町道場が愛知県大府市にある。大石康先生（71歳）が道場主を務める大石道場である。大石先生は昭和50年の道場開設以来、40年の長きにわたって少年少女の柔道指導にあたってきた。バルセロナ五輪金メダリストの吉田秀彦氏、アテネ・北京五輪金メダリストの谷本歩実氏、ロンドン五輪出場の中井貴裕選手を輩出させた指導者としても有名だ。愛知県柔道道場連盟会長でもある大石先生は、平成25年10月には文部科学大臣から「生涯スポーツ功労者表彰」も受け、名実ともに少年柔道の指導者としての実力を高く評価されている。愛知県柔道整復師会の会員で柔道顧問でもある。今回、佐久間稔晴本会会長との対談を通じて、大石先生の柔道人生や柔道指導に懸ける思いなどを紹介する。

佐久間 まずは昨年の八段昇段と文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰おめでとうございます。あらためてお祝い申し上げます。また、東京オリンピック2020の招致に成功し、組織委員会が始動し始めた今、オリンピック選手を3名も輩出された素晴らしい功績をお持ちの先生が身近におられること、あらためて誇りに感じております。今日は少年少女の柔道指導・健全育成を中心にいろいろお話を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

大石 私の話がお役に立つかわかりませんが、よろしくお願いいたします。

■早朝の新聞配達で柔道着を買いました

佐久間 まずは先生の柔道との出会いについてお聞かせください。

大石 昭和28年、私が小学校5年生のときに、

吉松義彦七段（鹿児島県警）が全日本柔道選手権大会で優勝されて、鹿児島県の地元出水柔道会に指導に来られるという新聞記事を父親に見せられ、出水柔道会という柔道の稽古ができる所があることに惹かれて稽古を見に行ったのが私と柔道との最初の出会いです。

見学に行った後、すぐ柔道を始めようと思ったのですが、当時は母が死去し、戦後の衣食もままならないころで柔道着が買えませんでした。そこで朝4時に起きて新聞配達をして買うことにしました。ただしそれには3つの条件がありました。一つは、未配達が一軒でもあったらやめること、二つめは50部配達すること、三つめは柔道着が買えても1年間は続けることでした。夏場はともかく、冬の朝の4時は眠たくて寒くて、手の指が切れそうに冷たく、50部の新聞の重さが身に堪えました。そうして柔道着が買えて手にしたときのうれしさは今でも忘れられません。毎日枕



【プロフィール】

大石 康

学歴

昭和36年 3月 鹿児島県立出水高等学校卒業

昭和48年 3月 中部柔整専門学校卒業

職歴

昭和36年 4月 富士製鉄(株)広畑製鉄所入社

昭和43年 8月 富士製鉄(株)名古屋製鉄所に転勤

昭和48年12月 新日本製鉄(合併による)名古屋製鉄所を退職

昭和49年 1月 柔道整復師となり井上接骨院にて研修

昭和50年 5月 大石接骨院を開業

柔道歴

昭和28年 4月 出水柔道会で柔道を始める

昭和30年 4月 出水中学校柔道部入部

昭和33年 4月 出水高等学校柔道部入部

昭和36年 4月 富士製鉄(株)広畑製鉄所柔道部入部

昭和43年 8月 富士製鉄(株)名古屋製鉄所入部

昭和50年 6月 少年少女柔道教室大石道場を設立、現在に至る

平成25年 4月 講道館柔道八段

現在兼務している役職

平成 9年 4月 から 愛知県柔道連盟常任理事

平成19年 5月 から 公益社団法人愛知県柔道整復師会柔道顧問

平成20年 4月 から 愛知県柔道道場連盟会長

平成24年 4月 から 名古屋柔道協会副会長

平成25年 4月 から 名古屋地区柔道少年団団長

元に柔道着を置いて寝ました。後にも先にもこんなにつらく、またうれしかったことはありませんでした。

佐久間 そういう苦労をして柔道着を買われ、すぐに出水柔道会に入られたのですね。

大石 そうです。そのころは、走るも泳ぐも、相撲も一番で体力には自信がありましたから、柔道も一生懸命やりました。豊かな自然の中で朝から晩まで遊びで身体を鍛えていましたから。でも家で勉強したことはあまりありませんでしたね(笑)。中学生になるとすぐ柔道部に入りました。ところが中学校には出水柔道会で練習している教師が6人もいて、勉強ができないと、出水柔道会では練習をさせてもらえませんでした。ですから必死で勉強しました。ただ、小学校時代に家で机に向かったことのない私は、夜勉強をやろうとしてもすぐ眠たくなり集中できません。そこで自分のやりやすい方法として、新聞配達を経験を生かして早朝5時前に起きて勉強するようになりました。

佐久間 高校時代も当然柔道を続けられたと思いますが、そのころの思い出とかはありますか。たとえば試合に出場したときの思い出とか…。

大石 高校は地元の出水高校に進学しました。そのころはまだインターハイという名称もなく、昭和27年から始まった団体戦だけの全国高等学校柔道大会だけでした。鹿児島県は鹿児島商業高校という第1回大会から全国大会で常に優勝を争う強豪校がありました。県大会はいつもこの鹿商と出水と鹿実(鹿児島実業高校)の三つ巴の争いでした。私が2年生で出場したときは決勝で鹿商に負けて2位、3年生のときも準決勝で鹿商に負け3位でした。しかし当時文武両道の合言葉のもと勉強も柔道も共に頑張りました。先鋒の元自衛隊・統合幕僚会議議長や次鋒も元(株)アーバンセキュリティ社長や副将の現・出水市長など、当時の仲間のことは今でも忘れられませんね。

佐久間 高校卒業と同時に実業団に入られたのですよね。

大石 はい、全日本選手権で優勝された神永昭夫選手に憧れて富士製鉄(株)に入社しました。5名のレギュラーの中に入って、神永選手と一緒に全日本実業団大会に出たいという入社当初からの大きな目標がありました。入社3年目の昭和39年に、神永選手が東京オリ

ンピックでオランダのヘーシンクに破れ、昭和40年の全日本実業団大会を最後に引退されることになりました。その最後の大会に私が次鋒で神永選手が大将で出場することになったときは、喜びと同時にこれほど大きな重圧を感じたことはありません。試合は優勝した三菱重工に5人全員引分け、2回代表戦も引分け、最後は抽選となり負けましたが、憧れの神永選手と出られたことが実業団時代の大きな思い出です。

会長も当時、三菱重工で柔道をやられていましたね。

佐久間 はい。先生とは別のクラスで実業団大会に参加しておりましたが、先生の試合は拝見していました。神永選手は雲の上の存在で、そのチームの一員としてすばらしい活躍をされていた先生を今でも思い出します。先生にとっては、大きな思い出とともにきっと大切な思い出なのでしょうね。当時お互いに柔道に懸けた青春が懐かしいですね。

柔道を通じていろいろな人たちと出会い、いろいろな経験をされたこととも思います。その中で先生が大切にしてくられた言葉というか、座右の銘というか…それは何でしょう。

大石 「この道より我を生かす道なし この道を歩く」です。高校1年生のとき、武者小路実篤が好きでほとんどの小説を読みました。3年生のときでした。進学か就職かで悩んだ末に富士製鉄で柔道をやろうと決めたときに、書店で手に取った武者小路実篤のこの色紙に感銘を受けて、そのときから今でも座右の銘としてこの色紙を掲げています。

佐久間 まさにその言葉どおり、柔道一筋の人生を歩んでこられたのですね。

■柔道指導者として大切なこと

佐久間 その柔道人生の中でご自身最も大切にしておられることがありましたら教えてください。

大石 「己を尽くす」ということです。中学生のころから、可能な限り己を尽くす、勉強もおろそかにせず柔道に尽くす、己を尽くして試合や相手に結果を問わないという姿勢で

やってきました。これは作家で柔道家でもあった井上靖氏が学生時代から指針として使っていた言葉で、もともとは嘉納治五郎先生が遺された言葉*です。

*盡己殫成（じんきしせい）：己を尽くして（盡くして）達成するのをじっと待つという意味。
（広報部注）

佐久間 子どもたちの指導に当たって柔道場で大切にしておられることは何ですか。

大石 「礼に始まり礼に終わる」この実践が最も大切です。道場に入るとき、退出するとき、指導者が来たとき、練習が終わったとき、練習では相手が替わるたびに礼をすること、形だけでなく誠実に感謝を込めて礼をするように決めています。

佐久間 礼節に対する先生の思いが、大会で接する大石道場の子どもたちにもしっかりと浸透しているのがよく分かります。子どもたちへの指導に当たってそのほかに重きを置いていることは何ですか。

大石 日常生活で「当たり前のことは当たり前にやる」ということは簡単そうでなかなか難しく、「物事はすべて基本が大切である」と分かっている、いざ基本を教えるとなると徹底してはなかなか教えられません。「基本」というと、なんで今更という。この「今更」がみんな忘れかけているものなのです。初めて柔道を習う者に基礎から教える責任はとて大きく「充実した基礎のないところに、大成はあり得ない」ことをしっかり心に刻んでおく必要があります。私はこのことが最も重要だと思います。

また指導には、自分の体験だけでなく、広く柔道を研究し、子どもたちが興味を持って柔道を続けられるよう、日々稽古に工夫を加えることが大事だと思います。「教えることは教わること」これが指導の原点だと思います。指導者こそ日々鍛錬を実行しなければなりません。自分の指導力について、これでよしと満足してしまったらおしまいです。私はこのことを常に肝に銘じ、少年柔道指導の心構えとしています。子どもたちの指導は、その心構えをもって、心技体を磨き、人間形成

をするという教育だと思います。その基本となるのが、気力と体力を身に付けることです。促成栽培ではなく、ずっと柔道を続けていくことによって人間形成と競技スポーツとしての勝利を目指すという、両面を伸ばしていくことが一番だと考えています。

佐久間 日本のスポーツ指導全般で“体罰”や“パワハラ”などいろいろな問題が叫ばれるようになってきました。昔から「スパルタ教育」とか「愛の鞭^{ムチ}」といわれている指導もありますが、それに関してはどう思われますか。子どもたちが主体的に練習できるようにすることが最も理想的な指導だと思いますが、先生はどのようなお考えで指導されていますか。

大石 初めて柔道をやろうと入門してきた子どもたちに柔道を続ける意欲を持たせることが指導の最も大切なことです。そのためには子どもたちに夢を与えてやることです。そして、そこから向上心や競争心を育み、練習意欲を引き出してやりたい。子どもはやる気になれば自発的に練習し、技量も伸びます。前向きに柔道を続ける意欲を与える指導、それが私の目指すところです。子どもの向上心に火をつけることこそ少年柔道指導者に課せられた最も重要な課題であると考えます。「スパルタ式練習」や「愛の鞭」などでは柔道を続ける意欲を失わせると考えています。

佐久間 柔道での頭部外傷についても最近をよく話題になりますね。コンタクト競技では常にけがの危険性をはらんでいます。先生は練習や試合でけがを回避するためにどのような対処をされていますか。

大石 安逸に流れた練習はけがのもとです。それが第一点。集中力を高めて練習させ、指導者は子どもの集中力を見極めることが大切で、集中力が低下してきたら休憩を取りながら余裕を持った練習をさせることです。

第二点は試合です。小中学生は、この時期の精神的特徴や個々の身体の発育状態や柔道の経験、技量などに大き

な違いがあります。それを見極めた上で試合の出場の可否を決める指導者の判断が安全面では最も重要です。

第三点は大会の運営です。私たちの会主催の少年少女柔道大会は、昨年から試合数を減らしスペース的にも時間的にも余裕を持った大会にしてきました。「余裕」、そこにポイントがあると思います。審判団や選手の家族からも好評でしたしね。

■五輪3選手に思うこと

佐久間 本会主催の柔道大会といえば、谷本さんや中井さんもかつては出場し優秀な成績を修めていますね。吉田さんを含め、オリンピックに出場したこの3選手との出会いについてお聞かせください。

大石 吉田秀彦は、小学校4年生のとき入門しました。わんぱく坊主でエネルギーを持って余していました。道場の仲間と遊ぶのが大好きで、失敗を恐れず挑戦する気持ちが強く、自分が強くなるためにつらいことも我慢する根性の持ち主でした。

谷本歩実は、中学1年のときに本格的に柔道に取り組み始めました。相手の目を見て人の話をよく聞き、素直で明るくて、自分の中から湧き出てくる気持ちが強く、自分から何でも積極的に求めていく少女でした。

中井貴裕は、身体が小さくすばしこい5歳の子供でした。普段はおとなしいのですが、



▲中井貴裕選手ロンドン五輪出場激励会にて、五輪3選手とともに（平成24年7月7日、大府市文化会館）

練習になるとよく動き、足技がうまくて受けが非常に強く、一本負けをしたことがなく、団体戦はいつも中心選手でした。

佐久間 オリンピック選手となるために、共通して備えていた資質はどのようなものだったとお考えですか。

大石 強くなろうと思えば人並み以上の「努力」が必要であり、強くなりたいという「強い意志」がなければなりません。またオリンピック選手になるまでの道のりは順風満帆とはいかないので「我慢強さ」も必要です。「努力」・「強い意志」・「我慢強さ」、これが3名に共通していた資質だと思います。

■子どもを信じて長い目で

佐久間 先生は昨年の生涯スポーツ功労者表彰以外にも、平成16年に大府市スポーツ功労賞、平成21年に第3回中日スポーツ功労賞を受けられましたね。柔道を通じて地域社会に貢献している証しですね。本会の会員の中にもそれぞれの地域で子どもたちの柔道指導に携わっている者がたくさんいます。その人たちに伝えるメッセージがあれば教えてください。

また、2年後のリオ・オリンピックや6年後の東京2020の柔道に向けてご示唆いただけることがありましたら、お聞かせください。

大石 子どもたちは素晴らしい可能性を秘めています。私たちは簡単に他人の力を判断し

てしまいますが、力は本人の気持ち一つで大きく変わります。特に成長期の子どもの力は分かりません。親は「うちの子はダメ」、指導者は「この子はダメ」と簡単に決めつけないで、子どもをもっと信じて長い目で見てやりたいものです。

オリンピック選手も促成栽培や一朝一夕ではできません。長い目で育てることです。そして一本を取る柔道を教えていく。一本を取るのが柔道の本質です。それを追求して成長していく過程で、それぞれの選手の個性や戦い方が生まれます。陸上選手に短距離選手と長距離選手があるように、一本を取る選手(短距離選手)と時間いっぱい戦って勝利する選手(長距離選手)が出てきて当然です。勝ち負けだけにこだわる競技本位になってしまっている現在、講道館柔道本来の教育面と競技面をしっかりと捉えたうえで本来の一本を取る柔道を目指していかないといけないと思っています。2年後、6年後に向けて少年時代に講道館柔道の基本と精神を植え付けていくことが肝要だと思います。

■東京五輪から東京五輪までが目標

佐久間 昨年11月4日に行われました「大石康先生の文部科学大臣生涯スポーツ功労表彰を祝う会」で、「2020年の東京オリンピックの決定で次の目標ができた。7年後まで子どもたちの指導に頑張る」と述べられましたが、それを含め具体的な抱負がございましたら、お聞かせください。

大石 東京オリンピックから東京オリンピックまでが私の目標です。

オリンピックといえば遠い存在でしたが、1964年の東京オリンピックで、恩師の神永昭夫先生がヘーシンクに破れて涙してからオリンピックが大きな目標となりました。少年柔道の指導者になったのもあのオリンピックが原点です。

吉田秀彦、谷本歩実、中井貴裕の3



▲大石道場で門下生を熱心に指導する大石先生

名の応援に、バルセロナからアトランタ、シドニー、アテネ、北京、ロンドンと6大会連続でオリンピックに行っています。これを2016年のリオ、2020年の東京へとつなげていくのが私の目標です。

ロンドンオリンピック出場の81kg級中井貴裕、全日本学生優勝、欧州オープン3位の66kg級六郷雄平（明大4年）、2013グランドスラム東京大会でロンドンオリンピック金メダリストと2013リオ世界選手権大会金メダリストの2人を一本勝ちで連破して優勝した48kg級の近藤亜美（大成高3年）、それと現在指導している中高生の成長に期待しています。

佐久間 アテネ・北京2大会9試合連続オール一本勝ちという柔道史上初の快挙を上げた谷本歩実さんに「先生の指導は、10年経っても一貫して変わらない。進学後も自分の技がちょっと狂ったときや初心に帰るときは、先生の道場に戻って指導を受ける。先生がいたからこそ自分の柔道にすごく自信が持てた」

と、先生に全幅の信頼を持っておられることをお聞きしました。今、中高生で先生の道場の指導を受けている子どもたちが3選手のように、2年後、6年後のオリンピックを見据えて育ってくれることを祈っています。

本日はとても心に響く、また示唆に富むお話をありがとうございました。会員の柔道指導者にも素晴らしい指針になると確信しております。今後のご活躍を心より期待しております。また本会柔道顧問としても引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。
大石 参考になりましたでしょうか。今後も柔道指導と会の発展のために努めたいと思っています。「柔道整復師」という職業があったからこそ60年以上柔道を続けてこられました。柔道と柔道整復があつての私の一代ですから。今後も柔道を通して青少年の健全育成に努めていきます。その結果が強い選手の育成につながるものと思いますので、その信条を貫きたいと思っています。



▲数々の楯やトロフィーが並ぶ応接室にて大石先生と話す佐久間会長

会務執行状況

(2月～3月)

日 整 関 係

平成26年 2 月

日付	曜日	会議等	出席者
1	土	東京都新年賀詞交歓会	工、木、豊
2	日	阿部一先生お別れの会	工、木、萩、豊
6	木	広報部会	
7	金	部長連絡会議 大川学園医療福祉専門学校：業界説明会	大河原、渡一
8	土	高橋四郎先生叙勲祝賀会	木、萩、豊
9	日	大分県公益移行記念式典	工
10	月	九州医療専門学校：業界説明会	松、富
10～12	月～水	モンゴル国へ モンゴル国立医科大学との協定書締結	工、萩、萩隆
12	水	大分医学技術専門学校：業界説明会 トライデントスポーツ医療科学専門学校：業界説明会	松、加 佐、森川
13	木	セルテック新潟柔道整復師養成学院：業界説明会	大橋
17	月	総務部会 優等卒業生選考委員会	
18	火	甲賀健康医療専門学校：業界説明会 第2回コンプライアンス委員会	中、仁
21	金	四者懇談会	工
22	土	日本健康医療専門学校：業界説明会	辰、深
25	火	保険部会（医療） 経理部会	
26	水	名古屋医専：業界説明会	佐、森川
27	木	理事会	
28	金	柔道整復研修試験財団評議員会	萩、豊

モンゴル講師派遣 6名

平成26年 3 月

日付	曜日	会議等	出席者
2	日	呉竹医療専門学校：業界説明会	渡、高
3	月	河原医療福祉専門学校：業界説明会 専門学校白寿医療学院：業界説明会 今村学園ライセンシアカデミー：業界説明会 仙台医健専門学校：業界説明会 中央医療学園専門学校：業界説明会	浜、高正 鈴、岩 福、野 萩、櫻 橋、春、新、深
4	火	盛岡医療福祉専門学校：業界説明会 帝京大学：業界説明会 了徳寺学園医療専門学校：業界説明会 関東柔道整復専門学校：業界説明会 北豊島医療専門学校：業界説明会	萩、及 倉、塚 竹、奥 橋、森、辰、深 春、新
5	水	JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース 兵庫柔整専門学校：業界説明会 東海リハビリテーション専門学校：業界説明会 朝日医療専門学校広島校：卒業式 兵庫柔整専門学校：業界説明会	岩、入 小、上 山 岩、入
6	木	赤門鍼灸柔整専門学校：卒業式 福岡医療専門学校：卒業式 履正社医療スポーツ専門学校：卒業式 部長連絡会議	櫻 塩 安
7	金	四国医療専門学校：卒業式 厚労省：医療課打合せ 中和医療専門学校：卒業式 専門学校浜松医療学院：卒業式 認知症サポーターキャラバン報告会 福島医療専門学校：業界説明会 IGL 医療専門学校：卒業式	石 萩、豊、吉、伊、三 佐 永 萩 遠、大河内 加

※出席者の名前と役職
を列記します(表中で
は頭文字のみを使用)

工——工藤日整会長
木——木山日整副会長
萩——萩原日整副会長
豊——豊嶋日整総務部長
吉——吉田日整保険部長
松——松岡日整学術部長
永——永田日整広報部長
萩隆——萩原隆日整国際部長
阿——阿部日整理事
山——山崎日整理事
伊宣——伊藤宣人日整理事
三——三橋日整理事
大西——大西日整理事
原——原日整理事
伊述——伊藤述史日整理事
富——富永日整理事
内——内山日整監事

及——及川岩手県会長
櫻——櫻田宮城県会長
目——目時宮城県副会長
遠——遠藤福島県会長
大河内——大河内福島県副会長
倉——倉井栃木県副会長
塚——塚原栃木県理事
大——大藤群馬県会長
深——深澤群馬県副会長
渡——渡辺埼玉県会長
大河原——大河原埼玉県副会長
渡——渡辺一民埼玉県理事
高——高橋埼玉県理事
高——高橋千葉県副会長
牧——牧野神奈川県理事
齋——齋藤神奈川県理事
並——並木神奈川県理事
荻——荻谷神奈川県理事
井——井出山梨県副会長
橋——橋本東京都副会長
春——春原東京都理事
森——森本東京都理事
新——新井東京都理事
辰——辰野東京都理事
深——深井東京都理事
竹——竹内東京都監事
奥——奥倉東京都監事
大橋——大橋新潟県理事
鈴——鈴木静岡県副会長
小——小澤静岡県副会長
水——水野静岡県理事

日付	曜日	会議等	出席者
8	土	仙台接骨医療専門学校：卒業式	櫻
		専門学校白寿医療学院：卒業式	岩
		九州医療専門学校：卒業式	富
		福島医療専門学校：卒業式	遠
		朝日医療専門学校岡山校：卒業式	富
		琉球リハビリテーション学院：卒業式	上
		日本柔道整復専門学校：卒業式	伊述
		信州医療福祉専門学校：卒業式	内
		北海道柔道整復専門学校：卒業式	萩
		関西医療学園専門学校：卒業式	原
		大阪行岡医療専門学校長柄校：卒業式	川
		兵庫柔整専門学校：卒業式	東
		北信越柔整専門学校：卒業式	木
		米田柔整専門学校：卒業式	佐
		大阪府柔道整復師会専門学校：卒業式	安
		沖縄統合医療学院：卒業式	平
		了徳寺学園医療専門学校：卒業式	橋
		西日本柔道整復専門学校：卒業式	安
		近畿医療専門学校：卒業式	徳
8～9	土～日	関東学術大会山梨大会	工、松
9	日	甲賀健康医療専門学校：卒業式	中
		アムス柔道整復師養成学院：卒業式	安
10	月	森ノ宮医療学園専門学校：卒業式	川
		福岡医健専門学校：卒業式	松
11	火	帝京科学大学：卒業式	井
		中央医療学園専門学校：卒業式	伊述
		東日本大震災三周年追悼式	工
		前橋東洋医学専門学校：卒業式	大
12	水	河原医療福祉専門学校：卒業式	浜
		呉竹医療専門学校：卒業式	渡
13	木	呉竹鍼灸柔整専門学校：卒業式	齋
		日本医学柔整鍼灸専門学校：卒業式	工
		明治東洋医学院専門学校：卒業式	安
		学校安全推進会議（日本スポーツ振興センター）	萩
		横浜医療専門学校：業界説明会	牧、苅
14	金	トライデントスポーツ医療看護専門学校：卒業式	佐
		明治国際医療大学：卒業式	大西
		東京有明医療大学：卒業式	工
		大川学園医療福祉専門学校：卒業式	渡
		東京医療専門学校：卒業式	伊述
		常葉大学：卒業式	水
		東京柔道整復専門学校：卒業式	三
		帝京短期大学：卒業式	工
15	土	京都医健専門学校：卒業式	大西
		京都仏眼医療専門学校：卒業式	大西
		日体柔整専門学校：卒業式	春
		北豊島医療専門学校：卒業式	伊述
18	火	日本工学院八王子専門学校：業界説明会	森、深
		仙台医健専門学校：卒業式	目
		盛岡医療福祉専門学校：卒業式	及
19	水	日本工学院八王子専門学校：卒業式	春
		東海医療科学専門学校：卒業式	佐
21	金	横浜医療専門学校：卒業式	並
22	土	セルテック新潟柔道整復師養成学院：卒業式	阿
		学術部会	
23	日	理事会	
		国際部部会	
		全国都道府県会長会	
		育英メディカル専門学校：卒業式	深
24	月	労災補償課打合せ	萩、吉
		総務部会	
25	火	保険部会（医療）	
26	水	東洋医療専門学校：卒業式	徳
		経理部会	
30	日	保険部会（介護）	

上…………上杉静岡県理事
 一…………一瀬静岡県理事
 岩…………岩澤静岡県監事
 佐…………佐久間愛知県会長
 森川…森川愛知県副会長
 中…………中江滋賀県会長
 仁…………仁科滋賀県副会長
 安…………安田大阪府会長
 徳…………徳山大阪府副会長
 川…………川口大阪府副会長
 増…………増井大阪府副会長
 東…………東兵庫県副会長
 岩…………岩本兵庫県理事
 入…………入江兵庫県理事
 富…………富岡岡山県会長
 加…………加藤広島県副会長
 石…………石原香川県会長
 浜…………浜野愛媛県会長
 高正……高橋正佳愛媛県理事
 塩…………塩川福岡県副会長
 加…………加藤大分県会長
 福…………福迫鹿児島県理事
 野…………野村鹿児島県監事
 平…………平良沖縄県会会長
 上…………上原沖縄県副会長

周年記念式典の開催日

都道府県	式典名称	開催日・会場
(公社) 京都府柔道整復師会	社団法人設立60周年記念式典・祝賀会	平成26年6月7日(土)、8日(日) 京都ホテルオークラ 京都市中京区河原町御池

平成26年度 日整主催学術大会一覧

ブロック	担当都道府県	学会名称	講師・演題	開催予定日
北海道	(公社) 北海道柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第43回北海道学術大会 札幌大会		7月6日(日)
東北	(公社) 岩手県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第35回東北学術大会 岩手大会		7月13日(日)
関東	(公社) 神奈川県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第37回関東学術大会 神奈川大会		平成27年 3月8日(日)
東京	(公社) 東京都柔道接骨師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第33回東京学術大会		9月14日(日)
北信越	(公社) 石川県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第36回北信越学術大会 石川大会	◎ 金沢大学附属病院 整形外科主任教授 土屋弘行先生 演題「金沢発 整形外科医療の最前線」	6月28日(土) 6月29日(日)
東海	(公社) 静岡県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第49回東海学術大会 静岡大会	○ 特定医療法人 米田病院 理事長・院長 医学博士 米田實先生 演題「アキレス腱断裂について」	11月16日(日)
近畿	(公社) 滋賀県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第39回近畿学術大会 滋賀大会		10月18日(土) 10月19日(日)
大阪	(公社) 大阪府柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第8回大阪学術大会		11月9日(日)
中国	(一社) 山口県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第39回中国学術大会 山口大会	◎ 筑波大学体育系教授 白木 仁先生 演題「トレーナー活動の実際」 武田スポーツ整形外科クリニック院長 武田康志先生 演題「下肢のスポーツ外傷・ 障害の診断と治療」	6月15日(日)
四国	(公社) 香川県接骨師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第49回四国学術大会 香川大会	○ 香川大学工学部 安全システム建設工学科 教授 長谷川修一博士 演題「南海トラフ巨大地震時に おける柔道整復師の役割」 総本山善通寺第57世法主 真言宗善通寺派管長 樫原禪澄先生 演題「一笑一少」	8月30日(土) 8月31日(日)
九州	(公社) 佐賀県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第43回九州学術大会 佐賀大会	◎ 佐賀大学医学部整形外科学教授 馬渡正明先生 演題「股関節の機能解剖及び 股関節疾患に対する手術の現状」	7月20日(日) 7月21日(月・祝)

◎印の学術大会はどなたでも無料でご参加いただけます。
○印は特別講演のみどなたでも無料でご参加いただけます。

第22回柔道整復師国家試験合格者状況

平成26年3月27日(木) 午後2時発表

受験者数	合格者数	合格率
7,102名	5,349名	75.3%

合格基準

1. 必修問題については、配点を1問1点とし、全30問中、その得点が総得点の80%以上、24点以上を合格とする。
2. 一般問題については、配点を1問1点とし、午後の問題第5問及び第86問を採点対象から除外し、全198問中、その得点が総点数の60%以上、119点以上を合格とする。ただし、午前の問題第118問については、複数の選択肢を正解として採点する。
3. 必修問題及び一般問題のいずれも合格基準を満たしている者を合格とする。

学術・生涯学習講習会開催のお知らせ

公益社団法人日本柔道整復師会「第22回学術・生涯学習講習会」を下記の日程で開催予定です。ご家族やお知り合いの方もお誘いの上、ご参加ください。

日 時：平成26年10月12日(日)

会 場：日本柔整会館〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9

定 員：100名 入 場：無 料

お申込み：日整広報誌227号にてお知らせいたします。

公開講座プログラム（プログラム内容は変更する可能性があります）

学術講習会

- ・富山大学寄附講座報告会 講師／西条寿夫 富山大学大学院教授
- ・会員発表

生涯学習講習会

- ・全国ボランティア活動報告
- ・特別講演 講師／決まり次第日整 HP にてお知らせいたします。

第41回日整親善ゴルフ大会 開催のご案内

主管 公益社団法人 栃木県柔道整復師会会長 若林 共榮

標記の大会を下記のとおり開催いたします。多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。

.....

記

【ゴルフ大会について】

〈開催 日〉平成26年 9 月15日（月・祝）

〈ゴルフ場名〉サンヒルズカントリークラブ

サンヒルズカントリークラブはゴルファーにとって挑戦的であり常に新しい発見が用意されています。日光男体山と那須連山が、遠くかすむ雄大な景観を背景に、表情豊かな美しさを競い合う、伸びやかな自然の中のゴルフ場です。会員の皆様にはその開放感と爽快感の中で存分にゴルフプレーをお楽しみください。

〈ゴルフ場住所〉〒321-2112 栃木県宇都宮市上横倉町1000番地

TEL 028-665-4111 FAX 028-665-4117

〈アクセス〉〈車の場合〉 東北自動車道宇都宮日光 IC を降りて7分

〈電車の場合〉 東京駅から「東北新幹線」“宇都宮駅”下車
宇都宮駅西口からタクシー利用（およそ30分）

【競技内容】

① 競技方法、表彰について

18ホール・ストロークプレー（新ペリア方式）

団体戦、個人戦、その他各賞

② スタート時間 9月15日（月・祝）各組午前 7時16分スタート

EAST アウト・イン 7：16～

WEST アウト・イン 7：16～

③ 表彰式 サンヒルズカントリークラブ

午後15時30分～17時00分

【実施要領】

1. 日 時 平成26年 9 月15日 (月・祝)
2. コース サンヒルズカントリークラブ
3. 競技方法 18ホール・ストロークプレー(新ペリア方式)
4. 表 彰
 - 1) 『団体戦』
 - ・各都道府県別上位 4 名のトータル成績 (ネット)
 - 2) 『個人戦』
 - ・ネットの部、グロスの部、シニアの部 (70歳以上)、レディースの部、ドラコン賞、ニアピン賞、飛賞等、シニアはシルバーティー、レディースはレッドティー
5. 集合時間 スタート30分前までに受付をしてください。
6. 夕食会 平成26年 9 月14日(日)午後 6 時から ホテル東日本宇都宮 TEL 028-643-5500
7. 会 費
 - 1) 参加費 10,000円 (記念品・賞品等)
 - 2) 宿泊費 シングル 8,000円
 - 3) 夕食会費 10,000円
 - 4) プレー費 18,788円
 - * (グリーンフィ、キャディフィ、カートフィ、昼食代、パーティー代、諸経費、諸税込み)
 - * 昼食は、1,150円メニューよりお選びください。
 - ☆プレー費・宿泊費・朝食代は、各自清算とする。
8. 申込先 公益社団法人 栃木県柔道整復師会
〒320-0046 宇都宮市西一の沢町 4-7
TEL 028-648-0502 FAX 028-648-1847 E-mail : tochiju@nifty.com
9. 振込先

振込銀行：足利銀行 宇都宮支店 口座番号：141819 口座名義：公益社団法人 栃木県柔道整復師会 会長 若林 共榮

10. お願い *お申込み、ご送金は各都道府県にて一括でお願いいたします。
ご協力よろしくお願いいたします。
11. 締切日 **平成26年 7 月15日(火) (定員240名)**
12. その他 参加申込をいただいた方には、2 週間前ごろにスタート表などのご案内をお送りいたします。
13. 問合せ先 公益社団法人 栃木県柔道整復師会 会長 若林 共榮
TEL 028-648-0502 FAX 028-648-1847

申込書

(この頁をコピーしてご使用ください。)

ご記入の上、FAX 028-648-1847、またはE-mail:tochiju@nifty.comまでお送りください。

代 表 者	氏 名	フリガナ	都道府 県 名
ご 連 絡 先	住 所		
	TEL	FAX	

※書類等の送付・ご連絡等は原則として代表者様宛てにさせていただきます。

★ご参加者名

氏 名	性別	生 年 月 日	H・C	宿 泊	交 通	夕食会	同組希望
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	☐ 参加	

※H・Cがご不明な方は平均スコアをご記入ください。

※夕食会にご参加される方は□に✓の印をつけてください。

※宿泊・交通についてはいずれかに○をつけてください。

1)夕食会費	料金 @ ￥10,000×	名様
2)参 加 費	料金 @ ￥10,000×	名様
		計 ￥

(申込・問合せ先) 公益社団法人栃木県柔道整復師会
〒320-0046 宇都宮市西一の沢町4-7
TEL 028-648-0502 FAX 028-648-1847 E-mail:tochiju@nifty.com
担当：事務局 小口、齋藤

都道府県だより

私たち柔道整復師は全国各地で活躍しています

北海道

第28回北海道柔道整復 専門学校卒後教育講演会

平成26年2月16日(日)、午前9時30分から、北整会館4階大講堂において標記講演会が開催されました。

校主挨拶で萩原正和北整会長は「久しぶりに会う同期や先輩後輩たちと一緒に柔道整復師の資質向上を目指すため、今日1日しっかり勉強していただきたいと思います」と述べました。また、五十嵐一議同窓会長は「社会に貢献・信頼される柔道整復師になるためには、このような講演会に参加して実情を知り勉強することが大変重要であると考えております」と述べ講演がスタートしました。

講演1 ボーイズリーグ！野球小僧と20年

(公社)北海道柔道整復師会理事

総務部長 松村基弘先生

はじめに野球の機関について世界的な規模から日本の詳細な組織とボーイズリーグまで紹介しました。

続いて駒沢大学附属苫小牧高等学校が第86回、87回の全国大会で2連覇を果たしたことから、2004年に本拠地を北海道へ置いた日本ハムファイターズの各選手たちの活躍やエピソードに触れられ、これらが道民の野球に対する関心の高まりに関与したことを説明しました。

このような中、成長期の子供たちに必要なのが食育で、野球と食事の関係では、①まずは強靱な基礎体力を作り、②その上で反復練習によ



▲講演する松村先生

る専門体力を養成し、③技術戦略は最後に来ると述べました。これらを実行するのに必要なエネルギー（なぜ食べるのか）は④日常生活に必要なエネルギー、⑤野球に必要なエネルギー、⑥練習後に体を補修するためのエネルギー、⑦更に体を大きくするためのエネルギーが必要であり、更に強い体を作る、ケガや貧血、夏バテの対策として取りたい食品やビタミンについて、そのタイミングや間食の必要性についても説明しました。

少し前までは3大栄養素という分類で『炭水化物は体の中でガソリンとなり、脂質は体の中でガソリンタンクとなり、タンパク質は体の部品となる』といわれましたが、これにビタミン・ミネラルを加え5大栄養素、更に水分・食物繊維・フィトケミカル・酵素を入れ9大栄養素ともいわれるようになり、最新の栄養学では『全体食（ホールフード&ライフスタイル）』という考え方が重要視されており、野菜では皮や根等も丸ごと食べることでビタミンやミネラル、食物繊維やフィトケミカルも摂取できることを説明しました。

栄養素について、炭水化物は運動の2～3時

間前に摂取すること、脂質の種類と特徴について、タンパク質はスポーツ選手であれば体重1 kgあたり2 g必要で運動直後30分以内の摂取が望ましいこと、ミネラルの中で成長期の人は特に鉄の摂取が必要であることを説明し、またビタミンについては水溶性と脂溶性の特徴、水分補給のタイミングはこまめに少しずつ最低でも30分に1度は飲むこと、食物繊維は不溶性と水溶性のものが腸の働きを高め生活習慣病を防ぐ役割があること、疲労回復を高める食べ合わせについて、試合当日は試合の3時間前までに食事を済ませ、試合数が多いときは間食やスポーツドリンク摂取が必要であること、更に翌日に備えたタンパク質摂取についても指導していると述べました。

筋肉造りに必要とされるタンパク質をプロテインやサプリメントに頼るのではなく、あくまでも日常の食事をバランス良く摂取した上での補助として利用することが望ましいと述べ、終わりに監督ではなく柔道整復師としての立場から子供たちと接する重要性についても述べ、講演を終えました。

講演2 心臓が動き出すとき

北海道柔道整復専門学校講師 小林武志先生

はじめに生理学について「上司の富瀬先生からは『解剖は地図、生理は映画』のようなものであり、生理学とは生理の理（ことわり）を追求する学問、生体の機能を探求する学問、動き（時間の経過）を勘案、すなわち『生理は時間の学問』であると常日ごろから教えられています」と話され講演がスタートしました。

「人間や動物、一般的に多細胞生物には細胞がたくさんあり、この細胞にモノを送るために循環器系、心臓というものがあります。この心臓を使って全身に血液を回し、酸素や栄養を乗せて細胞の隅々まで運ぶことが多細胞生物の仕組みです。

ある日、富瀬先生から『心臓の動き始めを撮影できないか?』というオーダーがきました。心臓は心電図のモニターで確認できますので心臓が止まるところはイメージできます。これが死でありその反対の動き出す瞬間が『生の始まり』です。そこで始まりを調べるため、ラットで実験することになりました。前例を調査する



▲講演する小林先生

と、マウスに関しては受精して8日目位で、ニワトリは9日位に動いたという論文もありました。しかし当時の動画はないため、実験・撮影を行うことになりました。

ラットの妊娠期間は約21日で、産まれると2カ月くらいで成体となります。ラットは受精してから9.5日目～10.5日目にかけて形が劇的に変化するという特徴がありました。胎児は1 mmと小さいのでシャーレに入れて、その中に塩水に砂糖やカルシウムを混ぜた液を入れ、温めながら顕微鏡にて観察しその様子をビデオで録画したところ、心拍の開始はラットによりバラつきがありました。観察のため顕微鏡に乗せて蓋をあけると温度が下がり蓋を閉めると元に戻るのに16分くらい時間がかかるので、16分経ってから動いたものを本当の動き出しと考えました。その結果、E9.99～10.13dayに心臓が動き出すという結論になりました。E9.99～10.13というのは午前0時49分～午前4時の間です。

次に心臓の動き出しには興奮収縮連関が関係していて、心臓の膜には活動電位がありこれを調べるのが心電図です。この活動電位が伝播してきて心筋細胞までくるとカルシウムチャンネルが開きます。ここが開くと外からカルシウムが入ってきて細胞の中にいっぱい収まって、筋小胞体からカルシウムが出てくるとい仕組みになっています。細胞の中にいっぱいになるとトロポニンが結合してアクシンとミオシンが収縮するというのが興奮収縮連関です。そこでカルシウムトランジェント（カルシウム感受性色素）を使って拍動を可視光で観察します。実験は何もない状態からカルシウムトランジェントのみ、そしてカルシウムトランジェントと拍動による画像、動画を見て変化を観察しました。

動きとして最初の部分は少しだけ動いてそのあと段々と動いていくという絵が確認できました。またニフェジピンというカルシウム拮抗薬をかけてみると拍動の動きが止まって見えて、それを洗い流すと動いてくるということで、外から入ってくるカルシウムが赤ちゃんの心臓の動きにも大事なのが分かりました。更に『生の始まり』は死ぬときの心電図の動きの反対ではなく、ある程度進んでから突然動き出すような始まりが確認されました。

まとめとして、『心臓は実際に動き出すちょっと前から動き出している』ということが今回の実験で分かりました。ヒトに関しては日本の教科書では22日目が心臓の開始と書いてありますが、おそらく受精後18、19、20、21日くらいが心臓の動き出しではないかと思います。胎児では実験できませんのであくまでも予想です」と心拍の動画やスライドをもとに詳しく説明され講演が終了となりました。

講演3 認知症の基礎知識 認知症高齢者への対応について

社会医療法人医仁会中村記念南病院

副院長 村上宣人先生

平成24年の高齢者人口（65歳以上）は3,074万人（総人口の24.1%）で過去最高を記録し4人に1人が該当する時代になり、これに伴い認知症高齢者も増加して厚生労働省の発表では305万人となっているが、これは介護保険利用者数からの推計であり、介護が必要でない人を含めると462万人ともいわれており、自らを含め避けて通れない問題であることを述べられ講演がスタートしました。

認知症の種類は①アルツハイマー型が68%、②脳血管性が19%、③レビー小体型が4%、④前頭側頭型が1%、その他が8%と、ここ20年で診断方法が向上しアルツハイマー型の率が上昇していると述べました。

アルツハイマー病の特徴は40代で発症し年齢と共に有病率が増加し、85歳以上では4人に1人が発症する疾患で、症状としては最近のこと、特にある出来事があったこと自体（例えば食事の内容を忘れるのではなく、食事したこと自体）を忘れてしまうという記憶力障害と、今いる場所や日時、曜日などを認識できなくなる見当識



▲講演する村上先生

障害が現れるが、人格は比較的保たれることが多く老化による出来事の一部だけを忘れるのとは違うということを説明しました。

また、FAST分類に基づき病気の進行過程と症状について説明しました。更に認知症患者さんとの接し方として、アルツハイマー病患者などは周囲の人の感情を模倣する傾向にあるので、介護者は落ち着いた楽しい気分で、かつ患者さんの味方の立場で接することが非常に重要で、もし対立してしまった際は、違う話題に振ることで前の話題を忘れてもらうのも一つの手段であると述べました。

病状が進行すると、妄想や人物誤認が出現する場合もあるが、この場合も同様に対応することが必要であると付け加えました。更に人格変化も現れることがあり、粗暴になったり攻撃的になったりする。原因は感情をコントロールする能力の低下によるもので、介護者が平静さを保ち上手に話題を変えること。対応できない場合は薬物療法が必要になることもあるが、原因があれば改めなければならないと述べました。

予防法としては、適量アルコールの摂取量はビールで1～6本/週、コーヒーは3～5杯/



▲会場風景

日の摂取、外交的で活動的な生活を送ること、毎日1時間以上趣味に従事すること（読書や陶芸が良い）、有酸素運動を3回／週実施すること、食事ではオリーブオイルを使う地中海料理を取ること、マルチタスクのTVゲームを行うことなどを挙げ、最後にアルコール中毒、喫煙、薬物摂取などの危険因子を除くことで青年期から若年認知症を予防できると示唆され講演を終りました。

最後に加藤隆北整副会長のお礼の言葉で有意義な講演会が終了しました。

（広報員 高山訓正）

関東地域

栃木県

小山北ロータリークラブ杯 少年柔道大会

小山市で少年選手らを指導

平成26年2月2日（日）、標記大会が県南体育館柔道場（栃木県小山市）で開催された。

今大会は第20回大会を記念し、昨年の世界柔道選手権男子60kg級で優勝した高藤直寿（たかとう・なおひさ）選手＝下野市国分寺出身（東海大）を来賓として招いた。

開会式では大久保寿夫小山市長・宇賀持小山警察副署長に続き、高藤選手が「小学生のころはたくさん負けた。柔道が大好きで、勝ちたくて一生懸命稽古をした。皆さんも柔道を好きになってください」と挨拶し、大会に参加した少年選手らを激励した。

当会会員も貢献

大久保市長は「礼に始まって礼に終わる柔道こそが、青少年健全育成にとって、もっとも適したスポーツと考えている」と挨拶。小山支部会員である星野敏和会員・飯嶋秀夫会員らは、それぞれのチームを率い、監督・競技審判として大活躍。社会に貢献する柔道整復師の姿を垣間見ることができた。

日本代表が直接指導

試合終了後、子供たちを前に高藤選手は『JAPAN』のロゴと『日の丸』の入った柔道着姿になり、国分寺中学校柔道部を相手に、内股や袖釣り込み腰などの投げ技を披露。小内刈りに関しては「上半身の釣り手・引手をしっかり決めることが一番大切。足は刈るというより置く感じである」と、技を決めるコツを解説しながら実演した。

また、来場者からの質問に答え、内股・背負い投げの打ち込みのポイントを説明し「今から頑張れば世界も目指せる。練習も勉強も頑張つて」と、参加した児童らにエールを送った。

当会副会長との『縁』

高藤選手が柔道の師と仰ぐ倉井洋治副会長との出会いは6歳のとき。「初めて柔道着に袖を通し、初めて技を教えていただいた」と振り返る。本大会に小学1年生から6年生まで出場しており「今日は20回目の大会、自分自身も20歳。縁がある」と、感慨無量の面持ちにふけっていたが、眼差しは2年後のリオデジャネイロ五輪を見据え「金メダルを取ることに専念したい」と気持ちを新たにしていた。その様子を見守つ



▲高藤選手（左）と倉井副会長

ていた師匠である倉井副会長は、愛弟子の成長に相好を崩し、いつもの強面も形無しであった。

(広報員 塚原 剛)

群馬県

平成25年度第2回生涯学習講習会



平成26年2月9日(日)、群馬メディカルセンターで標記講習会を開催した。特別講演では日本赤十字社前橋赤十字病院院長 宮崎瑞穂先生を招いて「赤十字と病院をめぐる話題」と題して講義をいただきました。

宮崎先生は機能的脳神経外科と小児脳神経外科を中心に研究されてきました。機能的脳神経外科とは神経機能障害の改善を目的としたものであり、パーキンソン病などに有効な手術法「定位脳手術」を解説。また小児の水頭症や脊柱管内容物の突出を伴った開放性二分脊椎など、これまで扱ってきた症例を説明しました。また赤十字の活動内容についても詳しく述べられました。

赤十字の歴史

赤十字は世界中のさまざまな地区で医療活動を遂行しています。赤十字のマークとして一般的な場所で使用されているのは十字の紋章(図1)。これは赤十字創設者アンリー・デュナンの祖国スイスに敬意を表して、スイス国旗を反転したものです。しかし、十字のマークは宗教色が強いということで、現在は赤新月(図2)、そしてレッドクリスタル(図3)も使用されています。ジュネーブ条約により、このマークのある所は戦地においても絶対に攻撃してはならないと厳格に定められていますが、現在アフガニスタン等では破られており、自爆テロの標的



▲図1



▲図2



▲図3

となったこともあります。日本では佐野常民が「博愛社」を創設。1887年に日本赤十字社と改称し、国際赤十字組織となりました。

被災地での活動

東日本大震災において全国から寄せられた義捐金の額は3,298億円。また、海外からも約600億円もの寄付が届き、それを元に物資を購入して被災地に配布。一部報道などで義捐金に対して手数料を取っているような記事が出ましたが、手数料は一切徴収しておらず、100%被災地の自治体にお届けしています。

また、本会には日本赤十字社のさまざまな救護訓練や研修会に参加していただき、新潟県中越沖地震、東日本大震災では日赤群馬県支部災害救護班の一員として会員を派遣していただき大変に心強く感じています。

(広報員 永井 毅)

埼玉県

故阿部一先生(前会長)お別れの会



平成25年11月29日(土)に71歳で亡くなられた本会阿部一先生(前会長)のお別れの会を、本会をもって平成26年2月2日(日)午後1時からパレスホテル大宮にて執り行わせていただきました。

祭壇には、故阿部一前会長の古式士のごとき風格の御遺影が飾られました。

大河原晃副実行委員長開会のお言葉に始まり、個人の在りし日のお姿を偲び参列者全員が黙祷をささげ、冥福を祈った。

弔事拝受の式に入り、柴山昌彦衆議院議員、関口昌一、古川俊治参議院議員、金井忠男埼玉県医師会会長、中島政司埼玉県柔道連盟会長、工藤鉄男日整会長、岡本和久日整関東ブロック会会長より心温まるお言葉が送られ、また多くの各界からの弔電が奉読された。

「阿部一会長は、昭和46年拓殖大学卒業

昭和55年東京柔道整復専門学校卒業

埼玉県所沢市で開業

平成13年 5月 日本柔道整復師会関東ブロック
会理事

平成15年 5月 社団法人埼玉県接骨師会副会長

平成15年 5月 日本柔道整復師会関東ブロック
会監事

平成16年 6月 社団法人日本柔道整復師会代議員

平成23年 4月 社団法人埼玉県接骨師会会長

平成23年 4月 日本柔道整復師会関東ブロック
会常務理事

平成24年 4月 公益社団法人埼玉県接骨師会会長

平成25年 6月 公益社団法人日本柔道整復師会監事
の要職をつとめ、業界発展に努力されました。

平成17年11月 埼玉県知事表彰（公衆衛生事業
功労）

平成20年 3月 厚生労働大臣表彰

平成25年 3月 公益社団法人日本柔道整復師会
会長表彰等の表彰を受けています」

遺族を代表し、次女の阿部薫子さんが「多数のご来臨をいただき、各界代表の方々から心のこもった弔事を賜り深く感謝申し上げます。柔道整復師の一員として、接骨師会の皆様と共に前進することに文字どおり、命を燃やした父にとって本日のご厚情は、何よりの供養になると存じます」と述べられた。また故人の数々の思い出を話され涙し別れを惜しまれました。

渡邊寛「お別れの会」実行委員長の挨拶に移り、生前阿部会長は「人が代わったら実現できないということがあればそれは本物ではない。皆が一丸となって目標に取り組んでいるならば、

それは誰がやっても成就するはずだ」と言われていた。

「これぞ阿部一精神」と言っていたことを思い出します。そして阿部会長の下、一丸となって取り組んだ結果念願の公益社団法人を取得できたことの業績に対して心から感謝いたします。

私ども、これからも阿部会長の教訓を生かし本会の発展に協力していく所存でございます。先生が亡くなりましたが、私どもの胸に、またご親族の方々の心に生き続けていくものと思います。阿部先生、本当に長い間ありがとうございました。お疲れ様でございました」と語られました。

終わりに、委員長献花、遺族献花、来賓指名献花、また本会からの大勢の会員が参列し白いカーネーションを祭壇に献花して別れを惜しみました。

（広報員 吉田幸作）

千葉県

平成25年度保険業務講習会

平成26年2月2日(日)、本会接骨師会館において標記の講習会が開催された。

古山保険部副部長の司会進行で会は始まり、木村副会長の開会の辞のあと、岡本会長は挨拶の中で「会員の皆様におかれましては、お休みのところ多数参加いただき、誠にありがとうございます。我が業界を取り巻く環境は皆様ご承知のとおり厳しくはありますが、本日の講習をしっかりと受け止め、公益社団法人の一員としての自覚を新たに、適切な保険業務の参考としていただきたい。また機能訓練指導員の資格を生かし、介護関連事業にも積極的に参入していただきたい」と話された。

続いて、神埼保険部長より保険請求にかかる最近の動向を重点解説、また基本となる医療費と療養費の違いをしっかりと理解していただきたいと述べた。

第1部 保険業務講習

続いて日整全国保険部長会議で検討された課題をテーマにしての保険業務講習が各担当保険部員により行われた。

◎患者調査で回答がないことによる返戻・不支給について 藤井部員

◎自衛官の保険・白紙委任・子供医療修正方法について 白土部員

◎領収書・一部負担金について 今井部員

◎長期施術（頻回）継続理由について 高橋部員

◎返戻に対する対処・亜急性外傷について 照沼部員

◎自賠責の損保会社による一括請求について 古山副部長

以上の講習に関する質疑応答が活発に行われた後、高橋副会長より多忙な業務を割いてしっかりと勉強し解説された保険部員に対する労いの講評があった。

第2部 柔道整復師が行う介護保険事業・デイサービス

標記に関して本会の事業部機能訓練対策委員の田中達也会員・石橋和正会員が講師となり、田中達也講師は日整保険部介護対策課の資料を基に、柔道整復師が介護・福祉に参入の必要性和方法を、地域包括ケアシステムの全体像と柔道整復師としての参入モデルを示し、受け入れ側である行政の包括支援課の考え方、アクションの起こし方、について講演。



石橋和正講師は、介護事業のメリット、開業までのアプローチ、モデルケースのポイントとメニュー、そしてリスク管理までを具体的に講演された。

第3部 申請書作成上の留意事項について

千葉県国民健康保険団体連合会業務第2部業務課課長の高宮幸夫氏が、療養費審査支払いの流れと申請書等の記入方法および最近の返戻内容・件数を、社団と他団体・個人請求者との相違等を含め詳細に解説された。

終わりに木村副会長より、休日にもかかわらず講演いただいた国保連の高宮講師へのお礼と閉会の辞があり講習会は終了した。

県民公開講演会 妻の体調不良の原因 夫からのストレス？

平成26年2月11日（火・祝）、JR千葉駅近くの京葉銀行文化プラザにおいて、大阪樟蔭女子大学学芸学部・健康栄養学科教授の石蔵文信先生を講師にお招きして「夫婦で考える定年後の生活」～妻の体調不良の原因は夫からのストレス？～と題した講演会が一般市民にも門戸を開き開催された。

記録的な大雪！

2日前、関東地方で観測史上記録的な大雪に見舞われ、さながら雪国の景色となったその上に、さらに当日10cmの積雪という最悪の気象状況で交通機関も乱れ足元も悪い中、熱心な聴講者にきていただき何とか開催の運びとなった。

岡本会長の挨拶

高橋精一学術部長より石蔵先生の詳細な講師紹介があった後、岡本会長は「足元の悪い中来ていただき誠にありがとうございます、本会は県内の業界唯一の公益社団法人として県民皆様の健康・福祉のお手伝いをさせていただいております。

昨日のNHKのニュースで老人施設の入居権詐欺が急増していると報じられていました。振り込め詐欺が横行している昨今、さまざまな形での社会悪が私たち

を狙っております、十分お気を付けください。
千葉県警と“駆け込み110番”という形で市民を守る協定を結んでいる本会会員の施術所では、日常診療の現場でこういった情報も提供しております。

また大規模災害時の医療救護や、スポーツ大会でのトレーナー活動や医療救護、更に介護関連業務でもサポートしております。

何かございましたらお近くの本会会員の接骨院・整骨院にご相談ください」と挨拶された。

講演

講師 大阪樟蔭女子大学学芸学部

健康栄養学科教授 石蔵文信先生

夫の定年後、いかに夫婦が円満に第2の人生を送ることができるかは、夫の家庭内での過ごし方にかかっている。

年を重ねれば愛情も深まるはウソで、情は深まるが、愛情は薄まると思ったほうがよい。

恐怖のワシも族

夫が定年になったというような生活環境が変わった場合、女性の方向転換は早い！男性は地域社会での生き方が分からないため1～3年かかる。

妻が出かけるとき“ワシもワシも”と言う、それが“ワシも族”で一番妻に嫌われる、いわゆる昔からいわれている“濡れ落ち葉”である。

妻の夫への不満

妻の外出に口出しする・旅行は夫より娘や友人と出掛けたい・家では無口で不機嫌・家事は見ているだけ・上から目線の物言いなどの精神的な暴力・家計の細かいチェックをしすぎる・これらが蓄積し、夫源病となり、私を本当に幸せにしたいなら今すぐ死んで！となる。



▲聴講する市民



▲講演する石蔵先生

夫婦円満の秘訣

それではどうすれば妻に不満を与えずに定年後穏やかな余生を送れるか？

それにはこれらの妻が嫌がることを避けるのはもちろんのこと、まず妻の意見を聞く耳を持つ、そして妻を呼ぶときに“母さん”ではなく名前呼びましょう、あなたの母親ではないのですから。

プライドを捨て「ありがとう・ごめんなさい・愛してる」を口に出し、誕生日や記念日に花を贈ること。

「昼食うつ」からの開放

食事を作るというストレス「昼食うつ」から開放してあげるため夫が料理を覚えることが大きなプラスの効果を生み出すということで、先生自ら料理教室を開設し、簡単に作れて後片付けも簡単な“包丁・まな板・ざる・土鍋”をアイテムとした“夫婦円満簡単レシピ”を教える男の料理教室を開設している。

更に男の更年期とうつ病の病態と治療法に関してさまざまな解説をされた。

大阪市内で男性更年期外来を担当している先生は、診察は必ず夫婦で来てもらう、結果的に2人とも先生の顔を見ながら話すので、夫の嫌なこと、妻の嫌なことを語ってくれる。

そこに家庭内に潜むストレスが浮かび上がってきて、そこからお互いの不満を理解してもらえるように仕向けていくことで、ホルモン治療や抗うつ薬より有効な治療になる場合が多くある、と話された。

夫にもさまざまな妻への言い分があると思うが、そこは上から目線ではない、一段上の大人の男になりこれらを実践すれば、定年後の夫婦の危機は回避できるでしょう。

(広報員 渡辺 勇)

北信越地域

石川県

第14回文化講演会・第8回 石川接骨みらい塾



平成26年2月16日(日)、標記の会が石川県地場産業振興センター本館にて開催されました(=写真)。講師にKKR北陸病院整形外科部長の小林尚史先生をお招きして「上肢(肩・肘)疾患をどう診るか

～整形外科的立場から～」と題し、公開講座で行われたこの会には一般の方を含め130人を超える参加者で満席になりました。

【講演要旨】

腱板損傷(断裂)では、原因として

- ①肩峰突起との衝突
- ②年齢(老化)
- ③インターナルインピジメント(腱板が上腕骨頭と関節唇に挟まれる現象)

が考えられる。腱板断裂のシェーマ(模式図)として分類すると

- ①完全断裂
- ②滑液包面断裂
- ③関節面断裂
- ④腱内断裂

に分類される。断裂が起こる部位として一般的には棘上筋(肩前側)に起こりやすく、野球選手やスポーツ選手などは棘下筋上縁(肩後側)に起こりやすい。棘下筋が断裂した場合には、上腕外旋力低下が、肩甲下筋が断裂した場合には上腕内旋力低下がみられる。また、腱板部分断裂の場合その後も断裂が進行していき症状が長引きやすく、3～4ヶ月後に筋繊維自体が脂肪変性することがある。そうなると症状改善が難しくなるため早期の処置が望ましい。

また肩関節脱臼の病態には、

- ①Bankart病変(関節包と関節唇が骨から剥がれる)
- ②下関節上腕靱帯の弛緩
- ③HAGL lesion(上腕骨側からの関節包剥離)
- ④Capsular tear(関節包自体が破れる)

があり、8割がBankart病変である。この場合は、適切な状態で処置すれば保存療法でも可能で習慣性脱臼や肩不安定症に移行することが少ない。初期固定肢位として、今までは上腕内旋位固定が行われてきたが、外旋位固定の方が関節包が元の位置に戻ることが分かり、初期3週間は外旋位固定でその後2週間は内旋位で三角巾固定が推奨されている。ただほとんどの場合Bankart病変に、ほかの病態いずれかが合併していることが多いため、早い段階で画像診断を行うことが望ましい。関節包が弛緩した場合、ある程度までは元の状態に回復するが、ある程度以上に伸ばされると元の状態に戻りにくくなる。保存療法を行う上で、正確な診断と治療計画が必要である。構造的破綻の有無(重要)、練習を続けることができるかどうか、どこに病変があり身体のどこに問題があるかの見極め、患者さんの生活様式に合わせた短期(今)・中期(年)・長期(生涯)の見通しを立てる。手術が必要な場合も、どの時期に行うのがベストなのかを考えなければならない。

このほか、肩関節周囲炎、投球障害肩、肘のスポーツ障害などを動画やパワーポイントを使用し大変分かりやすくお話していただきました。明日からの臨床に大変参考になる講演会となりました。



(広報員 佐藤裕之)

東海地域

愛知県

個人契約者らに業界説明会を初開催

平成26年1月26日(日)、午前10時30分から正午まで、愛知県柔道整復師会館にて「みなさんの未来のために」と題して業界説明会が開催された。対象は愛知県下の個人契約者、卒後2年間の柔道整復師、会員の勤務・家族柔道整復師で、業界の現状や今後の展望、組織力の重要性、療養費支給申請や職域の拡大への取り組みなどを、それぞれの担当者が説明した。

参加者は69名(個人契約者等54名、勤務・家族柔道整復師15名)で、終了後回収したアンケート(65名が回答)によると、開業者32名の平均年齢は39.6歳(SD7.8、25歳～62歳)、無回答2名を除く非開業者31名の平均年齢は35.0歳(SD7.3、22歳～47歳)であった。また、免許取得後平均年数は、無回答を除き開業者30名では11.0年(SD6.9、3年～30年)、非開業者29名では8.4年(SD4.7、1年～17年)であった。

佐久間稔晴会長が、本説明会の概要や柔道整復業の歴史、公益法人としての本会の存在意義などを紹介したあと、以下の内容で説明会が行われた。

1) 柔整業界はどこへ向かおうとしているのか (業界の現状と将来)

森川伸治副会長

森川副会長は、養成学校と有資格者の増加、それに伴う療養費の増大や柔道整復師の質の低下などの問題を紹介し、受療委任払い制度の経緯と意義、協定と契約の違い、卒後臨床研修の必要性、個別指導や監査・受療委任停止に至る経緯などを説明した。また柔道整復師の受領委任払いはあくまでも特例措置であり法的に保障されているわけではないことを強調した。さらに個人契約が認められた昭和63年ごろから療養費の逡減措置が厳しくなったことにも言及し、バラバラな状態の業界が一本化して一致団結していかなければならない時代が来ていると結んだ。

2) 保険取扱いには生きた情報が必要(保険請求の現状)

堀 孝利保険部長

堀保険部長は公的審査会の仕組みを紹介したあと、社団と社団外の返戻状況を概説し、社団は社団外に比べ返戻率がはるかに少ないことを示した。その要因として本会や支部での保険研修会の開催、事務局・保険担当者の事前チェック、月末文書による周知などを挙げ、厚労省からの通達された文書だけでは分からない、文書の行間の意味や、保険者や審査会の動向や意向、通達後の状況の変化などの“生きた情報”を知ることが大切であると述べた。本会では保険者らとのつながりなどの中でこれらの情報を入手できることや、本会の保険取扱いの取り組みによって会員が利益を受けていることを強調した。

3) 新たな職域に活路を(介護予防機能訓練事業)

長谷川貴一広報部長

長谷川広報部長は、全国の多くの柔道整復師が増収対策を講じているが、中には柔道整復師法や医師法に抵触するような危ういものもあるので、公的に認められたもので増収を図らなければならないと前置きし、新たな職域として日整や本会が進めている介護予防機能訓練事業について、その仕組みや参入方法を説明した。特に、事情に明るい役員や担当会員が市町との交渉に当たったり、資質を担保するために認定講習会を開催したりして、組織の力によって参入が実現したのであって、個人での参入は相当困難であることを強調した。更に地域包括ケアシステムについても言及し、社団組織が在宅医療の分野や介護予防サービスの分野において参入を目指して活動していること、参入できたなら新たな職域は更に広がる可能性があることを



▲業界説明会

示した。

終了後は個別の質問も多数寄せられ、業界と組織への関心の高さもうかがえた。また2～3人からはその場で本会入会の打診もあった。

回収したアンケートでは、開業者の3分の1近くがレセコン業者のみから保険取扱いに関する情報を入手しており、十分な“生きた情報”を得ていないことや、5人に1人が疑義返戻を再請求しておらず、再請求の方法が分からないか再請求できない内容である可能性があることなどが分かった。

「時間配分が悪い」、「内容が分かりにくかった」などの苦言も一部であったが「研修会に満足」、「機会があったらまた参加したい」との回答が9割にも上り、業界の将来や本会の組織強化の面で、今後も開催していく意義は大きいと思われた。

地域包括ケアシステム参入に向けて 柔道整復師がすべきこと

平成26年3月16日(日)、午前10時から11時30分まで、本会会館において第26回機能訓練指導員実務研修会(第9回フォローアップ講習会)が開催され、会員235名・勤務柔整師ら22名の、合わせて257名が参加した。講師には今回で9回目となる金田嘉清先生(藤田保健衛生大学医療科学部部長・教授、同大学地域包括ケア中核センター長)をお迎えし「地域包括ケアシステムとその先にあるもの—参入のために柔道整復師がすべきこと—」と題してご講演いただいた。

金田先生は最初に、団塊の世代が高齢者となる2020年問題など、過去から将来までの高齢者を取り巻く構図と問題点を時系列で述べられた。我が国の75歳以上の高齢者が2030年には5人に1人、2055年には4人に1人になると推計される。出生率の低下と相まって、2030年には20～64歳の世代1.7人で65歳以上の高齢者1人を、2055年には同じく1.2人で1人を支えていかなければならない厳しい社会が訪れると予想される。65歳以上の高齢者の3割が医療・介護を必要としており、そのうちの3割が要介護3以上で、更にそのうちの3割が独居者であるという「3・3・3の予想」も新たに紹介され、現在の高齢者数3,300万から3,400万人で既にそのよ



▲講演する金田先生

うな状態になりつつあるという。

首都圏をはじめとする都市部で高齢化が急激に進むと同時に、認知症高齢者や単独世帯あるいは夫婦のみの世帯が増加していく。高齢化に伴い要介護認定者も増加の一途をたどり、80歳以上では認定率が3割を超えるとの報告もある。今後の高齢化社会を見据えるとき、

- ①高齢者ケアのニーズの増大
- ②単独世帯の増大
- ③認知症高齢者の増加…

これらに対する社会保障システムの導入が課題となる。

そこで厚生労働省が打ち出してきたのが地域包括ケアシステムである。すなわち、

- ①医療との連携強化
- ②介護サービスの充実強化
- ③予防の推進
- ④見守り・配食・買い物など多様な生活支援サービスの確保や権利擁護
- ⑤高齢者になっても住み続けることができる住まいの整備

など、多種多業種による横断的なシステムの構築である。

金田先生は地域包括ケアシステムの位置付けや方向性、そして必ずしも理想どおりに進んでいない現場の実態などを詳述された。特に、このシステムはさまざまな支援が切れ目なく提供されることが必要とされるが、現状ではおのこの提供システムが分断され有機的な連携が見られていないことや、通所・訪問リハビリにおいてADL改善のためのサービスが十分行われていないこと、ケアマネジャーと医師との連携が取りづらいことなどの問題点を指摘された。

このような状況の中で、柔道整復師がシステムに参入するためにすべきことは何か…。金田先生はシステムの現状などを紹介された後、次

のように述べられた。「厚労省は認知症の増加に危機感を抱き、認知症の研究や活動には積極的に予算を付けている。この部分に目を向けていく必要がある。運動器の機能向上訓練が認知症やその予備軍の改善や予防に効果があるかどうかを検証していくことが最も重要である。介護のなかで運動器の機能訓練に関わるのはOT・PTと柔道整復師だけである。自分たちの手でこの部分のデータをしっかり集めて分析し、行政に働きかけていくことで参入の道が開けるのではないだろうか」

更に、柔道整復師は「認知症」の診断はできないが、長谷川式の評価方法などのスケールを利用して「MCI（軽度認知障害）」についてスケールの数値として分析していけば何ら問題ないと述べ、ぜひ社団が先頭に立って進めて行ってもらいたいと、心強いメッセージを送られた。

日整でも地域包括ケアシステムへの参入に取り組んでいる。名古屋市は政令指定都市として介護予防事業の分野で全国社団の先頭を走っていると聞く。また大村秀章愛知県知事がシステム構築に前向きであり、さらに河村たかし名古屋市長も最重要施策と位置付けている。金田先生のメッセージを受け取った役員や名古屋市会員からは、名古屋市会員でMCIに対する運動の効果を検証し、名古屋市での参入を果たして先鞭を着けることができれば、日整をはじめ全国社団会員に少なからず寄与できるのではないかとの意気込みが垣間見えた。



▲機能訓練指導員実務講習会

(広報員 長谷川貴一)

近畿地域

滋賀県

平成25年度滋賀県柔道整復学術大会ならびに生涯学習研修会

平成26年1月26日(日)、午後1時から標記の会が大津市商工会議所「コラボしが21」9階会議室において開催された(=写真)。当日は、小雨の降る肌寒い天候であったが、公益事業として本会会員また会員外、更には養成学校からの学生の参加もあり会場は満席となった。

伊部正記学術部長の開会の辞に続き、中江利信会長の挨拶では、日整の現況報告や本会の会務状況について述べた後「電療は我われにとって大変身近な治療法の1つである。本日は絶好の機会であるので、ぜひ多くのことを吸収していただき、明日から施療に活かしていただきたい」との挨拶があった。

第1部の学術大会は、了徳寺大学健康科学部整復医療トレーナー学科・学科長教授の石丸圭莊先生を講師に迎え「電療の鎮痛メカニズムを知り、明日からの臨床に役立てる!」と題した講演が行われた。石丸先生は、疼痛に関連した著書も多く出筆されており、またさまざまな学会にも所属され、特に痛みに関する分野では多方面で活躍されておられる先生です。

講演は、電気刺激による鎮痛の歴史をはじめ、どのようにして鎮痛効果が現れるのか、その詳しいメカニズムと実際の臨床での効果を、最新の知見とスライドや貴重な動画を用いて進められた。電気刺激による疼痛緩和の基礎理論である「ゲートコントロール」については、打撲したところを擦ることにより痛みが緩和される現象を例に挙げ、「打撲」したことによる痛覚を





▲開会の辞を述べる伊部学術部長

伝える細いC線維を「擦る」ことによる触圧覚を伝える太いAβ線維を興奮させ、C線維より早く脊髄後角に伝達して痛みを伝えないよう阻止をする。まさに太いAβ線維で「ゲート」を作り、脳への痛覚を遮断するということを大変分かりやすく説かれた。また、医科で行われている神経根ブロックや硬膜外ブロックの概念も、この理論に準じて施行されているとのことであり、我われもこのゲートコントロール理論をうまく活用することにより、電療でもより高い疼痛管理が可能であるとも説かれていた。

ほかにも、電療によって内因性モルヒネ様物質をどのようにしてリリースするのか、また体性感覚受容器が高密度に分布する手部や足部を刺激することにより下降性疼痛抑制系をより活性化できることなど、大変興味深く参考になる内容であった。

後半の器械を用いた実技では、電療を施行するに当たり、Aβ線維を選択的に刺激する方法や、中枢と末梢で異なる周波数を用いての疼痛コントロールなど、その症状や部位に合わせた効果的な方法をゲートコントロール理論に基づいた懇切丁寧な説明があった。

そして講演後の質疑応答では参加者から積極的な質問があり、活発な意見交換がなされ、この講演への関心の高さがうかがえた。日々の施療での電療は疼痛コントロールの大きな手段になるということを再認識でき、まさに「明日からの臨床に役立つ！」貴重な学術大会であった。

第2部の厚生部主催による生涯学習研修会では「救護のあり方について」と題し、厚生部員の中川由也会員が講師を務めた。今後の地域スポーツ支援活動について、昨年10月に行われた「あざいお市マラソン2013」などの活動を例に、大会規模や競技レベル等によりその内容に応じ

たカテゴリー分類の計画、また対象活動に公平かつ積極的に協力をいただけるようにと、それぞれに基準を設ける旨の説明があった。

また柔道救護活動をするための「競技ルールの確認」と「競技中の処置判断」について、講道館柔道試合審判規定と国際柔道連盟審判規定をもとに「出血を伴う負傷」「軽微な負傷」や「意識障害」についての細かい説明があった。止血や負傷の処置を審判に指示されたときの注意点や、実際の止血方法、また意識障害を起こしたときの確認事項など、救護活動現場での判断の難しさと、ルール等の理解の必要性を再認識するきっかけとなり、今後我われ会員が、救護活動に参加する際に大変役立つ内容の研修会であった。

(広報員 岡田博之)

兵庫県

平成25年度保険講習会

平成26年2月2日(日)、午前10時から本会館5階多目的ホールにて会員105名の参加の下、標記講習会が開催されました(=写真)。



▲三橋裕之先生



講習会に先立ち、まず入江保険部長より「兵庫県内での保険の現況」について、藤本介護保険部長より「地域包括ケアシステム」について、そして萩原隆本会会長からは「卒後研修」について、それぞれ簡単な報告と挨拶がありました。

会長の挨拶の後、(公社)東京都柔道整骨師会常務理事、日整保険担当理事の三橋裕之先生に「業界・日整の現況とそれに伴う公益社団日整の動き」と題してご講演いただきました。

三橋先生は、保険担当理事になられる前から保険部員としても長年活動されておりその講演内容は、

- ・ 実際仕事に就いている柔道整復師や、施術所の数。養成校や、受験合格者の数など、我われの業界自体の環境がどのようになっているか
- ・ 日整と厚生労働省との交渉はどのようになっているのか
- ・ ますます厳しくなる保険者、健保組合の調査点検に対しての返戻の実際や日整の対応
- ・ 自費診療や、施術情報提供料などの各種請求項目の注意点や解釈の仕方
- ・ 自賠責保険について
- ・ 過去の保険研修会での質問事項やその回答など、限られた時間にもかかわらず多岐にわたる内容でしたが、非常に分かりやすく保険の取り扱いに対し、より理解を深められ貴重な情報を得られた講習会になりました。

平成25年度学術研究会

平成26年2月2日(日)、午後1時から本会館5F多目的ホールにて、会員121名、賛助会員2名、一般9名、学生58名、計190名の参加の下、標記学術研究会が開催された。

◆特別講演

「野球肘の成因とその治療・予防—早期復帰と再発予防のため—」

行岡病院副院長 整形外科・
手外科センター長 阪神タイガース甲子園診療所長

正富 隆先生

◆学術部推薦発表(2題)

- ・ デイサービス利用者に対する“頭いきいき”を目指した健康づくり体操指導報告

専属体操指導員 安積美鈴先生

- ・ 経皮的電気刺激(TENS)の鎮痛効果～電極貼付部位に関する検討～

森ノ宮医療大学大学院

保険医療学研究科 伊黒浩二先生

◆会員発表(8題)

- ・ シンスプリントの発生機序について—痛みと向き合った先に—

尼崎支部 荒木晴彦会員

- ・ 弾発指の運動療法

阪神北支部 吉田裕男会員

- ・ 前十字靭帯(ACL)再建術後、腫脹発症例の軽減法(求心性、遠心性マッサージ)について

阪神南支部 西村公佑会員

- ・ 足関節固定(U字型固定)法の一報告

神戸東支部 森 正会員

- ・ 脊髄損傷患者の施術に関する考察



▲講演する正富先生



▲本会萩原会長を挟んで会員発表者

神戸西支部 濱田 匡会員
・レッドコードを用いた体幹強化が及ぼすパフォーマンス向上

東播支部 矢根和記会員
・上肢のコンディショニングアップ運動

姫路支部 渡辺泰三会員
・広背筋を中心とした肩関節のモビリゼーション法について
西播支部 辻本進也会員

正富先生の特別講演は、長年にわたり数多くの野球選手を診察してこられた、先生の実際の臨床の経験から得られた貴重な講演で、我われ柔道整復師が野球肘の患者さまと向き合う際、投球を禁止している間でもどのような指導をし、どのような治療をすれば良いか、非常に参考になった。

また、本年度も特別講演、そして学術部推薦発表と会員発表といった学術部が掲げる「学術交流に垣根なし」スローガンの下、幅広く内容の濃い研究会であった。

(広報員 本田 崇)

中国地域

岡山県

毒を知り、毒をもって毒を制する

岡山県柔道整復師会は、公益社団法人として一般公開講座を主催しました。

朝日医療専門学校岡山校校長、小熊恵二先生をお迎えし「毒を知り、毒をもって毒を制する」と題しての講座でした。

毒と一言でいっても毒の効くシステムは多彩であり、出血性大腸菌のように他の菌から毒の遺伝子を獲得し、新たな病原菌として現れたものもあるそうです。

北海道大学医学部を卒業された小熊恵二先生は細菌学、中でもボツリヌス菌のご専門だそうです。ボツリヌス菌の毒素は、筋肉を弛緩させる働きがあり、その仕組みを利用して、眼瞼けいれんや顔面けいれん、斜視、多汗症、更には、美容（皺とりなど）にも利用されているそうです。

人類の死亡原因ワースト1は病原菌感染症であり、肺炎、エイズ、結核、マラリア、下痢症といった疾患です。

日本でよく耳にするのは、死亡するかどうかは別として、O-157を代表とする出血性大腸菌やピロリ菌、肺炎球菌による感染症、ノロウイルス・黄色ブドウ球菌による食中毒、インフルエンザ、風疹、麻疹、带状疱疹、手足口病そして性感染症などになると思います。

整骨院において病原菌を保菌している患者さんが来院されることもあると思います。このようなときにほかの患者さんへ感染を避けるためにはどうすれば良いかを聞きました。

1. 患者さんの汗、血液、体液、分泌物、排泄物、粘膜、損傷した皮膚は感染菌の存在する可能性がある。ベッドに寝てもらう際には、使い捨ての紙を使用する。
2. 通常の呼吸器感染は、2m以内の距離で起こることが多く、距離を取りカーテンで仕切る。
3. 治療する人間は、感染の危険があれば手袋、マスク、治療着を使用し、治療が終われば変えていく。
4. 消毒液の種類と効果を理解し、手指や器具、ベッド等を消毒・清掃する。手指に汚物が着いた場合は、汚物により消毒効果も減弱するので、まず、流水で手を洗うことも良い。
5. 患者さんの来院ルートを一般の患者さんと隔離し、患者さんにもマスクをしてもらう。
6. ノロウイルスによる食中毒で重要な点は、非常に強い感染力を持っていることを認識する。汚物（糞便）は、0.5%程の次亜塩素酸ソーダ（キッチンハイターを10倍に薄



▲講演する小熊先生

める)で拭く。

7. カキの消化管にノロウイルスが存在するので、感染を恐れるなら、治療家はカキを食べない。

今後の研究が待たれる分野として、今以上に、極限微生物(海底火山、南極の氷下など)由来酵素を利用した技術が期待されているとのことでした。

小熊先生は、ご自身が医師、お兄さんも整形外科医、いとこが北海道伊達市で接骨院を開業されているそうです。北海道伊達市は仙台藩主伊達家の家臣(分家)であった巨理伊達氏が入植した所で、小熊先生のご先祖はその柔術(甲冑流)の師範だったそうです。我われにもご縁のある、ちっちゃい生き物が大好きな先生です。

(広報員 木下広志)

四国地域

香川県

丸亀国際ハーフマラソン大会 救護ボランティア

平成26年2月2日(日)、香川県立丸亀競技場にて第68回香川丸亀国際ハーフマラソン大会が開催された。私たち本会医療救護班は麓(ふもと)部長率いる救護会員22名が参加し救護活動を行った。本大会は毎年参加するアスリートたちの数が増え今回は1万599人となった。私たちの救護活動は香川県をはじめ各市町村にも深く浸透しており、本大会への参加は県知事、丸亀市関係者などから高い評価をいただいている。

アスリートたちへのストレッチ・テーピング

などのコンディショニング、アフターケアなどの施術はたくさんの選手たちから感謝されている。例えば、スタート前に転倒して両手と膝を強打し捻挫した女性選手がブースを訪れ、傷口などの応急処置を私たちは施したところ、彼女は完走できたと嬉しそうに報告においでになった。徳島県から来た60代の女性数人がブースを訪れコンディショニングを受けた。この方たちも完走できたという。この日約400人の選手たちが私たちのところに訪れた。今後も私たちは多岐にわたる救護ボランティアを続け、県民のために地域医療救護の公益活動に力を注ぎたいと考えている。



(広報員 武田雄児)



伊勢神宮内宮 宇治橋の日の出

公益社団法人三重県柔道整復師会 広報員 伊藤 昌夫

平成25年三重県の伊勢神宮では、20年に一度の式年遷宮が執り行われ、その模様はマスコミ等の報道により皆様もよくご存知のことと思われます。昨年一年間の伊勢神宮参拝者は過去最高記録を更新し、内宮が885万人、外宮が535万人、両宮合わせて1,420万人（前年より617万人増加）となりました。

さて、その伊勢神宮内宮で冬至の前後2ヶ月程の間、宇治橋に架かる大鳥居の中央から神々しい朝日が昇る光景が見られることをご存知でしょうか。宇治橋前からは正面に島路山が横たわっているため、実際の日の出時刻よりも約40分後に朝日が昇ります。この幻想

的な光景を望もうと、この時期大勢の人で賑わいます。内宮のご祭神・天照大御神は、太陽にも例えられる神様です。射し込む光は息を飲むほど美しく、大変おごそかです。

式年遷宮の翌年を「おかげ年」と言い、その「おかげ年」に参拝することを古くから「おかげ参り」と言います。この「おかげ参り」こそが、ご祭神の天照大御神（内宮）、豊受大御神（外宮）の更なるご利益があるといわれています。

皆様も、ぜひこの機会に伊勢の地を訪れてみてはいかがでしょうか。



肩関節脱臼整復法における一考察

静岡県 大川宏和

はじめに

当院のある伊豆地方は各地からマリンスポーツに訪れる方々が多く、特にダイビングではかなりの重量の装備を身に着け、海中よりダイビングスポットで待機中の船の船べりなどにつかまり上がろうとすると、海中で浮力により減免されていた重量が一気に肩関節に加わる。

更に波動などで上肢が伸展したまま外転、外旋力が加わり前方脱臼（烏口下脱臼）を生じてしまうという事例が見られる。

その上現場から来院するまでかなりの時間が経過することも多く、患部の筋緊張は高まり患者は疼痛のあまり患部を保持する姿勢を崩そうとせずに、（患側を健側の手で抱え込み、患側にやや傾き猫背になるという典型的な逃避姿勢を取る〈写真①〉）ましてや体格の良い男性の場合は、筋力が強いため筋緊張が一層高まり整復操作がなかなかできないことも多々あり、大きな動作の整復操作はその他動性のため、かえって疼痛や筋緊張を増し整復を困難にすることが考えられる。写真①



上記の肩関節脱臼特有の逃避姿勢を利用しながら患者の負担を軽減し、また腋窩神経損傷などを生じない安全な（必要最低限の動作で安全な整復）整復法を紹介する。

方法

一 整復一

- ・患者を仰臥位に寝かせ、下肢にクッションな

どを当て多少挙上する。

（疼痛のため気分が悪くなったり、貧血状態を起こす方がいるため）

- ・左肩関節脱臼の場合、術者は患側に立ち患者左前腕の下から術者の左手を差し入れ患者左上腕部下1/3を保持、10～30度程外転し、術者右手にて患者左上腕骨頭下を保持して術者の両手を用い患者の左上腕骨骨頭が関節窩に向くように内旋させ、術者の体重を利用しつつ牽引する。〈写真②〉



写真②

- ・この時に患者をリラックスさせ、力を抜かせるように深呼吸等の指示をする。
（力が抜け筋緊張が解ければ暫くの牽引だけでも自然に整復されることもある。）
- ・筋緊張の解け具合を見ながら術者左手で牽引しつつ、患者の左上腕骨頭下を保持していた術者右手を骨頭付近に移動し、術者右手手根部を患者の脱臼した骨頭下縁に当て、深呼



写真③

吸の呼気に合わせ暴力的にならないように注意しながら脱臼骨頭を関節窩方向にスライドさせるように圧迫し整復する。〈写真③〉

—固定—

- ・3～4号包帯にて冷湿布固定し更に三角巾にて固定。

(三角巾固定時も頸部後方と肘関節部後方の布を長めに伸ばし、患者背部で結び固定することで上肢の安定感が増す。)〈写真④⑤〉

- ・固定期間は患者の様子を見ながらではあるが、再脱臼予防のため約2～3週間固定が必要であることをよく説明する。



写真④

症例

—47歳男性—

横浜からダイビングに来ていて、海中から船べりを掴み上がろうとたときに、波で船が揺れ、左肩を外転、外旋強制され脱臼する。

(過去4回脱臼、前は5年前。)

仲間に連れられ来院するが脱臼後約1時間半経過。

当院に来院時には、左肩周辺の筋緊張著明で、疼痛のためほんの少し腕や姿勢を動かすことにもかなりの抵抗感あり。

疼痛のため顔面蒼白となり貧血状態に陥りかけていたので、ゆっくりと介助しながら仰臥位にし上記の整復操作開始。

脱臼した骨頭が関節窩に向くように内旋し、術者左手にて牽引しつつ内旋位を保ち様子を見ている内に「あっ入りそう……」との患者からの



写真⑤

訴えがあり、深呼吸をさせ、呼気に合わせて、術者の右手手根部を骨頭付近に添え押し込むように整復。

低周波通電後、冷湿布を施し3号包帯にて固定し、更に三角巾固定。

(前記の、背部に回る三角巾の端を結び合わせて更に安定させた固定)

当日横浜に帰るとのことで、地元の医療機関、接骨院への通院を勧め、約2～3週間の固定の必要性を説明し帰宅させる。

結果

かなり体格の良い男性(178cm、85kg位)であったが、整復操作に入り3～4分程で整復終了し、本人も「これまで入れてもらったときよりも、スムーズであり痛みなく入って良かった。この三角巾固定も安定感があり横浜までの道中も安心」との感想を得た。

考察

患者の逃避姿勢が、解剖学的にも拮抗する筋群相互の緊張の緩解、疼痛軽減の作用を果たしている点を利用し、整復操作を小さく自然な形になるように心がけ、粗暴な動作やポジションを避けた結果、整復操作による疼痛軽減、筋、骨、神経損傷のリスクも減らすことができると考えられる。

まとめ

肩関節脱臼の典型的な逃避姿勢を利用し、大きな整復動作を伴わずに整復が可能となり、精神的、肉体的な患者負担の軽減に寄与できる。

また、助手、設備、器具などを必要としないので、日常の施術のみならず、東日本大震災などに代表される大規模災害時や、各種スポーツ現場でも十分に活用できる徒手整復法の一つとなり得る。

参考文献

- ・解剖学アトラス (越智淳三訳)
- ・骨折脱臼の整復と治療 (米田一平著)
- ・小整形外科書 (綾仁富彌著)
- ・臨床医学示説 (阿部光俊編)

本の紹介

パズル・パレス

学術部 岩本 芳照

今回は、頭のリフレッシュをしていただく
目的で、医学書から離れて、スリルとサスペ
ンスに満ちた小説をご紹介します。

「ダ・ヴィンチ・コード」「天使と悪魔」な
どが、数年前にベストセラーとなり映画化ま
でされて、有名作家となったダン・ブラウン
著の作品です。

彼の作品の特徴は、一般には知られていな
いような歴史的事実や、専門知識を綿密に事
前調査し、そのうん蓄が満載されていること
です。ですから、読み切ったときに、何とな
く物知りになった気がします。

単なる小説とはいえないような、実際に存
在する組織や、専門機関の情報を基にした、

その奇想天外なストーリーの展開は、思わず
時間を忘れて読み切ってしまう内容です。

この本ですが、史上最大の諜報機関にして
暗号学の最高峰、米国家安全保障局（先日、
電話盗聴で世界的大問題になりました。）の
スーパーコンピュータ〈トランスレータ〉が
狙われます。対テロ対策として開発され、一
般市民の通信をも監視可能なこの存在は決し
て公にできない国家機密でした。が、この状
況に憤った元局員が、自ら開発した解読不可
能な暗号ソフトを楯に〈トランスレータ〉の
公表を迫ります。個人のプライバシーか、国
家の安全保障か。情報化時代のテロをスリリ
ングに描いたタイムリーな小説です。



著 者：ダン・ブラウン
翻 訳：越前敏弥・熊谷千寿
出版社：角川書店
A5判 174ページ
定 価：上巻・下巻 各660円

公益社団法人日本柔道整復師会 第7回大阪学術大会 第48回東海学術大会 三重大会 会員発表（ハイライト）動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動画を配信しています。

今回は、平成25年11月10日に大阪府、南御堂 御堂会館大ホールで開催されました大阪学術大会と11月17日に三重県、四日市市文化会館で開催されました東海学術大会三重大会の会員発表を配信いたします。



(動画再生期間 2014年6月1日～7月末)

【動画の見方】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、ログイン の後

学術部→学術大会会員発表動画 または

→第7回大阪学術大会

→第48回東海学術大会 三重大会

をクリックすることでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

日整HP「学術部」からご覧いただけます

[学術部]

1. 「学術シリーズ」の原稿募集
2. 富山大学寄附講座報告 Vol.6
3. 富山大学寄附講座 大学院入学案内
4. 日整主催学術大会 会員発表動画一覧
 - ・平成25年度の会員発表ダイジェスト版動画がご覧いただけます。
5. 平成26年度 学術・生涯学習講習会開催のお知らせ
6. 平成25年度学術・生涯学習講習会の報告
7. 平成24年度生涯学習単位報告・ボランティア活動単位報告
8. 平成25年度生涯学習単位・ボランティア活動単位報告書 ダウンロードのお知らせ
生涯学習単位・ボランティア活動単位報告書が日整HPからダウンロードできます。
9. 骨継の知恵袋
10. 公認私的研究会の紹介
11. 「柔道整復学士」を目指す方へ

日整HP「国際部」からご覧いただけます

[国際部]

1. 国際部 最新情報
2. 国際交流
 - ・モンゴル国立医科学大学との協定書締結
 - ・日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト
モンゴル人指導者候補日本研修報告
3. 柔道グランドスラム東京大会2014
柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ
今年度も東京で開催される標記大会に併せて開かれる、柔道国際医科学シンポジウムの発表演題を当会より募集いたします。普段の研究成果を海外の医科学研究者とディスカッションできる場として有意義なシンポジウムですので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。
詳しくは、日整HP「国際部」をご覧ください。

【日整HP「会員ページ」へのアクセス方法】

日整ホームページ（<http://www.shadan-nissei.or.jp/>）にアクセスし右下の **ログイン** をクリックすることでご覧いただけます。

パスワードは所属社団名と氏名を告げて、日整事務局（03-3821-3511）にお問い合わせください。

公益社団法人 千葉県医師会 「第2回終末期医療に関するシンポジウム」 に参加して

千葉県接骨師会 渡辺 勇

開会の挨拶

千葉県医師会長 井上雄元先生

開催の経緯

平成26年2月23日(日)、アパ&リゾート東京ベイ幕張ホールにおいて、(公社)千葉県医師会主催による第2回終末期医療に関するシンポジウムが「高齢者の終末期の医療およびケア～リビングウィルを考える～」というタイトルで開催された。

昨年開催された第1回の同シンポジウム「胃ろうを造設すべきか」では、医師56人をはじめ医療・介護等のおおむね27職種378人が参加し「多職種の現場での話が聞けて明日からの活動の参考になった」という高い評価を受けた。

この成果を受けて、今回は前回の懸案である「リビングウィルを考える」をテーマに、法科教授・医師・看護師・介護職員・看取りを経験した家族・宗教家が講師となりそれぞれの立場からプレゼンテーションを行い、ディスカッションされた。

千葉県では全国に先駆けて昨年から開催され、今後も社会的に更に議論されていく問題でもあり、コメディカルの一員として介護事業にも関わりのある、我われ柔道整復師にも必要な知識と考え、昨年に引き続き取材したので報告する。

基調講演

「判断能力の低下した患者の意思決定について～インフォームド・コンセントとリビングウィル～」

千葉大学法経学部教授 小賀野晶一教授

講演では、現代社会の地域生活における、高齢者の医療および介護に関する主要問題を列挙

した上で、とりわけ医療同意問題を提起し、当該患者が正常な思考能力を維持している時点で、事前にリビングウィル、エンディングノート、尊厳死宣言等で意思表示がされていれば、終末期医療の方向を選択する場合に難解ではないが、医療同意能力(医療選択能力を含む)が低下した患者に医療行為を行う場合、本人が指示した者(家族・青年後見人等、同意権限を有する第三者)へのインフォームド・コンセントが必要となってくる。

それをどのように行うか、そこには生と死の根本問題が関わってくる、そして良質で高いレベルの医療を実践した後に、最期の生活のクオリティを高めるための、緩和ケアを含めた終末期医療、延命治療・延命医療・尊厳死(消極的安楽死ともいわれる)・安楽死等を選択する必要が生じたとき、患者が正常な思考能力を維持していた時点で、意思を付託された者へのインフォームド・コンセントが重要となってくる。

そしてそこに介在する医療と民法の接点、そして成年後見制度の導入、それらに欠かせない法制度整備の必要性までも言及した。

「リビングウィル」の解釈

◎終末期医療のケアについての意思表示書

◎重病になり自分自身では判断ができなくなる場合に、治療に関しての自分の希望を述べておく書類、特に、医師たちに治療を中止し死ぬに任せてくれるよう依頼する書類(オックスフォード英語辞典より)

◎重病になり自分自身では判断ができなくなる場合に、どのような医学的ないしは法的判断をしてほしいかを説明しておく書類(ログマン現代アメリカ英語辞典より)

シンポジウム

「在宅医療を行う医師の立場から」

あおぞら診療所 川越正平先生

「在宅医療を行う看護師の立場から」

カンナ訪問看護ステーション 柴崎ゆかり氏

「施設で看取りを行っている介護職員の立場から」

特別養護老人ホーム松丘園 林 宏美氏

「在宅で看取りを経験した家族の立場から」

患者家族 桜井光雄氏

患者家族 渋川寿美子氏

「宗教家の立場から」

宗教家 堀之内豊氏

総合討論

シンポジウムで、それぞれの立場からの現状報告・体験談・そこに生じるさまざまな問題点等を発表した後、総合討論では質疑応答が活発に行われ、最後に今後も継続して開催し討論することを確認し合い、閉会となった。

リビングウィルの知識は一般市民にも必要な情報であるが、まだ社会には浸透していない。

我われ柔道整復師は日常の施術現場で、医科と比較すると、十分なコミュニケーションの時間があるので、このような情報を伝えることも、社会貢献につながるのではないのでしょうか。



▲講演する小賀野教授



▲シンポジスト

学制改革を望む

公益社団法人神奈川県柔道整復師会 相談役 川口 禮敬^{のりひろ}

表題の結論から言うとすべての柔道整復師（以後柔整師と言う）養成校を6年制の大学への移行を望みます。現況の我われ柔整師を直視するにつけ毎年5,000名以上の学生を排出していますが、どう誰が見ても多すぎます。これが500m四方に石を投げれば接骨院に3軒も4軒も当たるといわれる過当競争激化の時代背景です。私は昭和33年に柔整師のライセンスを取得しました。既に開業して半世紀以上経ちました。当時開業するには「同業者間の距離は直線で

500m離れること」と業界の県の規定で決められていました。それが公取委の指導もあり穏やかな表現で「離れることが望ましい」となり順次制約が緩やかとなり現在のような隣同士で接骨院が過当競争する時代となりました。昔が懐かしいとともに時代の変遷を感じずにはられません。

この柔整師過剰時代を克服するにはどうすればよいのか。日整に重くのしかかった大きな課題です。と同時に我われ会員も他人事ではなく

真剣かつ真面目に対応する必要があります。

冒頭に申し上げた6年制大学の理論付けは後に述べますが、世の中のニーズに合わせた学生の排出が必要です。昭和の時代、新卒の柔整師の数は年1,050人と業界と学校協会等との取り決めがありました。それが平成に入り、例の裁判で敗訴の落とし子で全国的に養成校の乱立という羽目になりました。私は考えますに、この裁判で同じ敗訴でも敗訴の仕方が悪いと思わざるを得ません。それは、日本の裁判の三審制の良いところを見捨てたからです。控訴をして二審三審と争いをし、その間一方では相手と話し合いを持ちもう少し会員の利益を守る良い結果が得られたと思うからです。

そこで本論に入り私の考えを述懐させていただきますと、我われの適正な数は毎年昔の1,000人前後です。それにはいかにすればよいか。養成校を減らせ、生徒の定員を減じると言っても養成校側に見れば経営の問題でなかなか無理の様子。我われ自身の資質の向上を望む以外ありません。言葉を換えればレベルアップのため、6年制大学への移行です。こうして養成校、そして学生数を絞ることです。これ以外に道はありません。ただ6年制にするのではありません。放射線学等カリキュラムの全面的な見直しそして充実です。しかるに医業類似行為者から医業への格上げ脱皮です。

これが成ればすべては解決です。これを実現させるには黙っていても誰もやってくれません。自らが行動を起こさなければだめです。

医科でも、歯科でも、獣医科でも、そして薬科でもそれぞれの者が自助努力をして現在を勝ち取っているのです。医科・歯科は旧制では21

～22才で臨床医になりました。それが新制になった現在では最短でも24歳です。獣医科は私が学生のころは4年制でした。薬科に至ってはごく最近6年制になりました。こうやって現在の自分たちの身分を勝ち取っているのです。

他方、我われはといえば、免許は知事免許から大臣免許になった。養成校は2年制から3年制もしくは大学になった、とはいうものの強制ではありません。ましてや夜間部まである。門戸を開き過ぎです。戦後の就職難の時代の職業指導ではありません。

こんな状態だから半世紀、いやそれ以上の間中味はまったく変っていないのです。

レントゲンが扱えるようになったわけでもなし、骨折・脱臼の医師の同意が外れたわけでもありません。後療の10円20円値上げのための日整はいりません。今日までの50年を念頭に、もっとグローバルな問題解決のため、これからの半世紀先を見据え我われ会員をどういう方向へ導いて行くのか。いや導きたいのかビジョンのある日整が望まれます。日整は会員を引き付ける魅力がないのです。だから全柔整師の日整の占める割合は30%前後しかないことが証明しています。

もっともっと日整は努力をしてほしいのです。いや努力をしていると必ず申されるでしょう。でも目に見えないのです。

私はこの道しか知らない者として、我が業界は学制改革以外に進歩発展はないと信じて疑いません。業界に対しての愛着は誰にも負けません。協力も惜しみません。頑張ってもらいたいと願って止みません。



マルアライメント改善に デバイスの活用

新潟県 小泉 靖

骨の配列不全（マルアライメント）は姿勢や動作上に大きく影響する。

骨盤をはじめ胸郭や下肢のマルアライメント

は関節可動域や正常な筋力発揮の制限因子となるが患者本人の自覚がなく進行しマルアライメントを原因に結果として外傷や障害につながっ

ていることを臨床で経験することが多々ある。
また長期にわたるマルアライメントは一つの関節に限らず複数の関節に機能異常を発生する。

徒手的にも改善は可能であるが限られた時間の中で施行すること、施行者により効果が変わることなど日々の施術の中で苦悩するところであり「リアライン・コア」「リアライン・バランス・シューズ」などのデバイスを活用することでマルアライメントを短時間で施行者を問わずに著明に改善することができる。

今回は体幹と膝関節のマルアライメント改善の例を、当院で使用するデバイスを用いて紹介する。

【リアライン・コア】

骨盤と胸郭に装着し、一定のエクササイズを行うことで体幹の左右対称化により屈曲・伸展・回旋などの可動域の増大と疼痛減弱を目的とする。



骨盤（寛骨の前傾・後傾）を対称化
胸郭可動域対称化・下位胸郭横径拡張

【リアライン・バランスシューズ】

足部に装着しバランスシューズ裏のバーに荷重することでKnee inなどの不適切な膝関節運動の改善を行う。



【施行例】

野球部の高校生。いくつかの項目に分けて評価を行い抽出された問題点は、右寛骨前傾・下位胸郭横径拡張の制限とスクワット動作時の膝関節Knee in。



【方法】

リアライン・コアを骨盤と胸部にリアライン・バランス・シューズを足部に装着。

①深呼吸 ②足踏み ③骨盤シフト ④骨盤回旋 ⑤前屈 ⑥後屈 ⑦上肢拳上 ⑧フロントランジ ⑨サイドランジのエクササイズ数回程度行う。

【効果判定】

誌面向かって左が「施行前」右が「施行後」

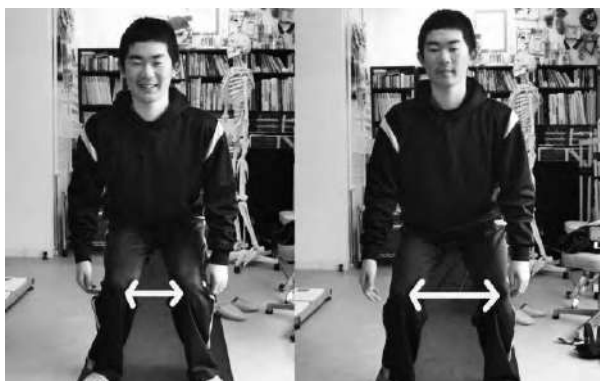
①体幹前屈



②体幹後屈



③スクワット



【まとめ】

マルアライメントを改善することで関節可動域は増大します。これは制限の原因がアライメントにあるからです。

施行例では体幹前屈・後屈・回旋の制限と膝関節Knee inの複数の問題点に対してデバイスを活用し10分程度の運動を行うことで動作は改善しました。

特に腰部や背部では関節可動域の増大だけではなく疼痛の減弱など症状改善も多くあります。

またデバイスを活用して症状や疼痛に変化がない場合でもアライメントではなく、その他(筋・筋膜など)の問題へ評価を絞ることができ、スクリーニングのツールとしても活用することもできます。

マルアライメントを改善し状態の安定化を持続させ、日常生活動作やスポーツ動作につなげることを施術の一連の流れとして、当院では積極的にデバイスを活用しています。

「参考文献」

今回ご紹介した「リアライン・コア」および「リアライン・バランスシューズ」はGLABが開催する講習会の参加により修得したものです。

蒲田和芳ほか：コアセラピーの理論と実践
講談社 191-192 2011

◆原稿締切日は奇数月20日です◆

〈投稿される会員へお願い〉

ワードまたは一太郎などで作成された原稿の場合は、そのファイルをメールでご送付ください。

★編集会議の結果、投稿の内容により未掲載となる場合もありますのでご了承ください。また「投稿」の場合、必ず日整広報原稿と記入または入力してください。

★投稿文は各都道府県事務所を通して応募ください。

★原稿・投稿者名にはふりがなをお願いします。

宛先：“日整広報”<kouhou@shadan-nissei.or.jp>

日整広報はつつ発行日と原稿締切

※原稿の締切厳守をお願いします。(広報部)

号 数	227号	228号	229号	230号	231号	232号
原稿締切	5月20日	7月20日	9月20日	11月20日	平成27年 1月20日	3月20日
発 行	7月20日	9月20日	11月20日	平成27年 1月20日	3月20日	5月20日

私の夢

30歳からの出発



岐阜保健短期大学医療専門学校1年 岡庭弘道

『人生に遅すぎるといふことはない。50歳でも60歳からでも新しい出発はある』戦後、波乱の人生の中にありながらも、諦めず努力の末にインスタントラーメンを完成させた、日清食品創業者安藤百福氏の言葉である。

今年30歳になる私にとって、この言葉はとても自分を勇気付けてくれている。人間何年歳を重ねたとしても必死に努力することで新しい道を切り開くことができる。正に私にとってふさわしいであろう格言である。

私は約半年前まで、旅館のフロント兼事務員として日々接客に励んでいた。しかしながら当時の私は、10年後20年後の自分の未来像というものは見えず、『このままで良いのだろうか?』という葛藤の中にいた。そんなある日、父が知り合いの接骨院の先生の話をしてくれた。始めは何気なしに聞いていたのだが、話が終わるころには興味が湧いていた。なぜならば、当時勤めていた旅館に来てくださるお客様の年齢層は高い方が多く、『腰

が痛い』『肩が痛い』『足が痛い』という方を多く目にする機会があったからだ。自分も専門的な知識を会得し、接骨院を開くことができる、このような方々の助けになることができるのではないだろうか…私にとっての『柔道整復師になりたい!』というきっかけはあまりに単純で、正直なところ他人に語るのも恥ずかしいくらいのものである。

人生の転機というものは突然やって来るとはよく言ったもので、その後まもなくして現在通っている岐阜保健短期大学医療専門学校のオープンキャンパスに参加し、新しい自分の進路がますます鮮明になっていった。その半面「勉強についているのだろうか?」「高校を卒業したばかりの若い子が多いであろう中、うまくやっていけるのだろうか?」などと不安になることもあった。

いざ入学してみるとクラスメイトは若い方が多いのだが、私よりも年齢の高い方も何名か在籍していた。そして肝心の勉強であるが、私が考えて

いたよりも深い内容であることに驚いた。勉学が進み入学後半が経過した現在ではそれも納得せざるを得ない。他人の体を施術するということは、高度な知識と技術を要し、そして責任を伴うからである。覚えることがとても多く根を上げたくならないこともしばしばある。しかしながら、これから先の自分のため、私を頼ってきてくださるであろう患者さんのために精一杯努力して、知識と技術を身に付けていかなければならない。学校の先生方はとても分かりやすく教えてくださり、クラスメイトも年齢の差を感じない程に仲が良くなることができ、当初の不安とは一体何だったのかとさえ感じています。

国家資格に合格することで接骨院を開業する権利を得ることができますが、接骨院や病院などで経験を積ませていただき、更なる知識と技術そして医療人としての心得を学びたいと考えています。日本固有の伝統医療である柔道整復術には教科書からだけでは学べない事柄が多くあるように思います。

文系の高校・大学を経て社会へ。そして畑違いの医学の道に進みだした『30歳の学生』の今後の目標は、一人でも多くの人に笑顔の花を咲かすことのできる『花咲おじさん』になることである。『人生に遅すぎるといふことはない。』不断の努力の先に私の想い描く未来があることを信じて……

ご卒業おめでとうございます！

平成25年度 柔道整復師養成学校 優等卒業生
公益社団法人日本柔道整復師会より額入り表彰状を贈呈しました

学校名	優等生氏名	学校名	優等生氏名
北海道柔道整復専門学校	横須賀千晶	専門学校浜松医療学院	前嶋 恭幸
北海道メディカル・スポーツ専門学校	今村健太郎	専門学校白寿医療学院	猪爪 俊雅
日本工学院北海道専門学校	野田 健馬	東海リハビリテーション専門学校	稲盛 隆文
盛岡医療福祉専門学校	畠山 亨	米田柔整専門学校	小島 昭範
仙台接骨医療専門学校	佐藤 弘基	中和医療専門学校	山崎賢太郎
赤門鍼灸柔整専門学校	郷家 瑞輝	名古屋医専	桂 佳男
仙台医健専門学校	上木 翼	東海医療科学専門学校	谷口 統輝
福島医療専門学校	菅原 優人	トライデントスポーツ医療看護専門学校	谷口 明子
帝京大学	笠井 俊佑	甲賀健康医療専門学校	小川 純一
前橋東洋医学専門学校	山根 信一	明治国際医療大学	村上 友斗
育英メディカル専門学校	西出 大一	京都仏眼医療専門学校	西村 綱正
大川学園医療福祉専門学校	柴田 岳幸	京都医健専門学校	沼井 佳代
帝京平成大学	丸谷 泰裕	兵庫柔整専門学校	桑名 由博
了徳寺大学	秋和 真澄	関西医療学園専門学校	萩原 良昭
呉竹医療専門学校	塚原 保	大阪行岡医療専門学校長柄校	尼子 偉久
大宮医療専門学院	鈴木 進吾	明治東洋医学院専門学校	横下 翔
呉竹鍼灸柔整専門学校	上杉 康司	履正社医療スポーツ専門学校	岡 浩平
横浜医療専門学校	梅津 秀基	近畿医療専門学校	川村 宣広
帝京科学大学	藤澤 望	大阪医専	高橋 浩
帝京短期大学	小澤 静	東洋医療専門学校	奥野 郁哉
東京有明医療大学	大石 桃	西日本柔道整復専門学校	布施 篤志
日本柔道整復専門学校	関根 基貴	アムス柔道整復師養成学院	遠藤 幸蔵
東京柔道整復専門学校	栖原 美咲	大阪府柔道整復師会専門学校	朱 暁林
東京医療専門学校	田部井英智	朝日医療専門学校岡山校	河本 慶次
日体柔整専門学校	柏井 梨菜	IGL 医療専門学校	清谷 僚
日本医学柔整鍼灸専門学校	森下 友雄	朝日医療専門学校広島校	中村 崇弘
了徳寺学園医療専門学校	高橋 隼飛	四国医療専門学校	金子 奈央
中央医療学園専門学校	江本 丈二	河原医療福祉専門学校	福井 宏治
日本工学院八王子専門学校	飯田 優介	福岡医療専門学校	光延 雅人
日本健康医療専門学校	鮫島 洋一	福岡医健専門学校	永田 栞
山野医療専門学校	池田 暢夫	福岡天神医療リハビリ専門学校	木下 亮
関東柔道整復専門学校	小野 未優	九州医療専門学校	船越 和宏
北豊島医療専門学校	三澤 郁弥	大分医学技術専門学校	和氣 凌子
セルテック新潟柔道整復師養成学院	小高 翼	鹿児島第一医療リハビリ専門学校	川浪 敏史
信州医療福祉専門学校	小林 三華	沖縄統合医療学院	多和田真史
北信越柔整専門学校	吉浦 耕平	琉球リハビリテーション学院	小林志津子
常葉大学	杉山 貴俊		

日 整 文 芸

(作品は1人3首〈句〉までといたします)

【短 歌】

あしひきの山に集いし氏子中
福岡県 山下 智章
祇園の神輿天に挑げる

如月につる薔薇結いしオベリスク
アートに見えて新芽膨らむ

静かなる青い街並み聞こゆるは
ニユース届ける二輪車の音

【俳 句】

山椒和へ
群馬県 鈴木 乗風

花冷えや光陰過ぐる師の忌日
清浄の老ひて朝餉の山椒和へ
春昼の鐘鳴り神鹿の歩み来し

寒の星
福井県 田上 滋良

寒行の熱気は眉を太くする
寒の星散らして一機北へ消ゆ
かんじきの跡はまさしく雪男

香川県 伊勢 豊郎 (豊生)

初春に天馬のごとく登り行く
卒寿来て骨一筋に生きる四季
孫も行く医学世界未来春

【川 柳】

雪解や流を急ぐパンケ川
猫柳パンケの岸にそつと咲き
寒冬夜友から届く宗八が
北海道 阿部 篤夫

※パンケ川 右岸
パンケ川 左岸
アイヌ語で宗八とはカレイの仲間、今が句です。

長野県 村松 文雄

眼疲労に良葉のごとき冬銀河
晴天の日赤く色づく実南天
天空は光々として冬満月

石川県 東 勝一

四十キロの渋滞笑う駿河湾
情報の頼りはやはりスマホです
半日の動かぬ時を過ごすとは

〈一般投稿〉

【短 歌】

奈良県 旧会員 長谷川治三郎

野々姿

雄大に自然の中でそびえしは
山はいぶきを 時を知らせし

奥山に神秘をもとめわけいれば
すませし耳にいのちのひびき

赤布をかけてたたずむ野仏は
自然にたえて人をたすくる

「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

広 報 部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。

作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

宛 先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号
公益社団法人 日本柔道整復師会広報部
TEL: 03-3821-3511 FAX: 03-3822-2475
E-mail: kouhou@shadan-nissei.or.jp

編集後記

■「日整広報 はつらつ 5 月号」が会員の先生方に届くころは、北国にも桜前線が到着しているでしょう。まさに春爛漫。桜の季節は出発の時期。新しい柔道整復師も誕生しました。日整の業界としてのリーダーシップに大いに期待をしたいところです。桜と並んで日本を代表する富士山が今月の表紙です。日本を代表する桜、富士山は未来まで残していきたい財産です。そして日本古来の伝統医学の柔道整復術を桜、富士山とともに世界へと発信していきたいものです。

(晴天雀)

■我が業界も2020年東京オリンピック開催に際して、何か協力参加しなければならぬと思っています。私が言うまでもなく、本会も五輪開催に向けて進行中であることは承知しています。先日、新聞に「2020年の五輪に津軽三味線の合奏で世界の人をおもてなししたい」と夢を語っているとの記事を目にしました。我われも柔道会場等において、柔道の形と呼吸法を取り入れた健康柔体操やわらを柔道整復師の体操として、健康維持管理増進を世界にアピールしたらいいかなものか。救護活動とセットなら、なお結構。もっと夢を持って頑張りたいものです。

(多毛家)

■東日本大震災における、被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状が、日整に贈呈された。3年前の5月に宮城県へ震災救援ボランティア活動に微力ながら参加した。その1年後に、この震災に被災し救護所で日整会員の救護ボランティア活動を見て感動し、自らが柔道整復師になり世の中に貢献したいと願う福島県の高校生が当院に体験研修に来た。翌春、柔道整復師を目指して養成学校に入学、現在2年生となり熱心に学んでいる。全国で展開されている公益活動がいろいろな所で柔道整復師の良い証

となり、このたび、厚生労働省から日整が評価されたことを嬉しく思う。

(家真舵)

■誌掲載の千葉県県民公開講演会のタイトルが「夫婦で考える定年後の生活」～妻の体調不良の原因は夫からのストレス？～とあり、年を重ねれば愛情も深まるのはウソで、情けは深まるが、愛情は薄まると思ったほうがよい。と石蔵文信先生は述べている。

夫婦円満の秘訣や、危機回避法がいろいろ述べられていますが、朝から晩まで同じ職場にいる我が家では妻の愚痴には極力耳を傾け、愛情が薄まらないように一年に一度、県外お泊り旅行を実施し、身近なことでは一週間に一度は家庭料理を振る舞うように努めている。

(魅家下)

■優秀な社員を採用しても本当にうまくいくのか、という人材育成方法で経営者が理解しておく必要があることの中に、2・6・2の法則というものがあります。人間が集団を構成するとリーダーシップをとる人間が2割、それに引っ張られて動く人間が6割、何もしない人間が2割という現象ができるそうです。何もしない人間を集めてもその中で同じ現象ができるそうです。だから、必ず2割が足を引っ張るということです。

祭囃子

どう考えますか？(尾座和)

■「親は『うちの子はダメ』、指導者は『この子はダメ』と簡単に決めつけないで、(中略)長い目で見てやりたいものです」。

これは、3人のオリンピック選手を育てた著名な柔道場の師範である大石先生の指導者としての思いです(本誌17頁の柔整サロンの一節)。全編を通して子どもたちの成長を願いながら、自ら指導者としての向上心に心掛けている姿勢に深い感銘を受けました。巷で「あの人は役に立たない」などの声を耳にすることがあります。しかし、人はそれぞれ潜在的に秘められたものを持っており、必ず役に立つ場所があります。

(多夢楽)



〈表紙解説〉

三保の松原からの富士山

公益社団法人静岡県柔道整復師会 上杉 一寿

2013年（平成25年）6月22日、ユネスコの世界文化遺産『富士山信仰の対象と芸術の源泉』の構成資産として登録されました。

あたまを雲の上に出し

四方の山を見下ろして

かみなりさまを下に聞く

富士は日本一の山

『ご存じ文部科学省歌『ふじの山』の歌詞どおりの景観です。

三保の松原は、静岡県静岡市清水区の三保半島にある景勝地で、その美しさから日本新三景の一つとして指定されております。古くは平安時代から親しまれ総延長7km、3万本以上の松林と駿河湾を挟んで望む伊豆半島の美しい景色にも魅了されます。

日本最古の『万葉集』にも詠われて以降、多くの和歌の題材となりました。天女の羽衣伝説の舞台でもあり、天女が舞い降りて羽衣を掛けたとされる樹齢650年の『羽衣の松』が最も有名でしたが、残念ながら立ち枯れが進み、現在は三代目の『羽衣の松』に世代交代をしました。地元では、毎年10月に能楽（羽衣）が披露されます。



平成26年5月20日発行

公益社団法人 日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9

電話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 工藤 鉄男

編集者 永田 官久

制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

健康にはり

SEIRIN®

Made in Japan

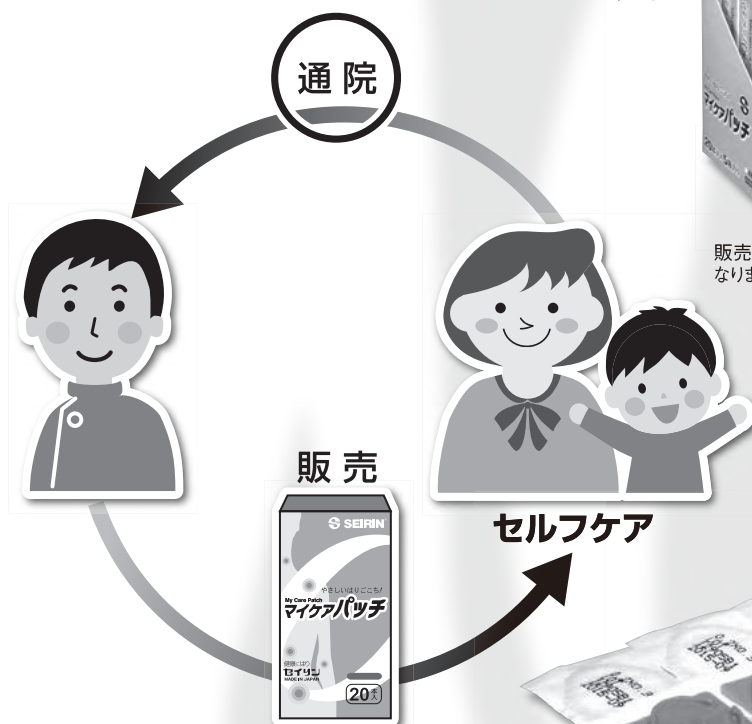
新発売

My Care Patch

マイケアパッチ

「家庭でセルフケア」

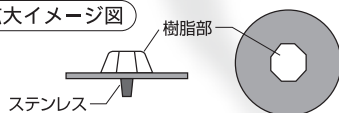
先生と患者様をつなぐ
コミュニケーションツールです。



販売用ディスプレイになります。



●拡大イメージ図



鍼先がないため、皮膚に刺入しません。
また、押圧刺激による接触タイプです。

カラー	バイオレット	一般医療機器	セイリンテープ付接触器
サイズ(mm)	0.30	届出番号:22B1X00006000004	

マイケアパッチは、バイオネックス・ゼロ(100本入)と同商品であり、販売用としての20本入商品です。



【使用上の注意】

- 肌に傷、湿疹などのある所には使用しないでください。
- 目の周囲及び粘膜部分には使用しないでください。
- 貼付した場所が発赤したり、カユミを感じるなど通常と異なる反応を示したり感じた場合は、医師または専門のはり師にご相談ください。
- アレルギー体質の方は使用を避けてください。

ご使用に際しては同封の添付文書及び取扱説明書をよくお読みください。

■製造販売元

セイリン株式会社

ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139
<http://www.seirin.tv>

0120-100890
(通話料無料ダイヤル)

国民年金基金 は公的な年金制度であり

☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり
所得税や住民税が軽減されます。

☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、
大変有利な扱いとなっています。

税金がこんなに有利！

掛金を収めているときは

掛金は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税が軽減されます。

掛金が年額457,560円の方で課税所得が500万円の
35歳0月の男性の場合（年金月額6万円で加入した場合）

1口目A型（12,710円）、2口目以降A型に4口（6,355円×4口）加入した場合

●年間の掛金 $457,560円 \times (所得税率20.420\% + 住民税10\%)$
= 139,190円 軽減

●実質の負担（年間）... 318,370円になります。

所得税率表

課税所得額	195万円以下	195万円超～330万円以下	330万円超～695万円以下	695万円超～900万円以下	900万円超～1,800万円以下	1,800万円超～
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%

※住民税は一律10%です。

65歳から年金を受け取るときも

公的年金等控除の対象となりますので、年金以外に収入がない場合、お一人お一人158万円までは、税金がかかりません。

夫

国民年金 (年金月額) 約6.5万円	+	国民年金基金 (年金月額) 6万円	→	年金額 約150万円 (12.5万円×12ヵ月)	→	公的年金等 控除 120万円	基礎控除 38万円
--------------------------	---	-------------------------	---	--------------------------------	---	----------------------	--------------

税金が
かかりません
課税所得がありません

妻

国民年金 (年金月額) 約6.5万円	+	国民年金基金 (年金月額) 6万円	→	年金額 約150万円 (12.5万円×12ヵ月)	→	公的年金等 控除 120万円	基礎控除 38万円
--------------------------	---	-------------------------	---	--------------------------------	---	----------------------	--------------

税金が
かかりません

※国民年金の年金月額6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。
※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳0月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金I型・II型・III型・IV型・V型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

【年金額・掛金額例】1口目A型の場合（月額）

男性	加入時年齢	年金月額	掛金月額	女性	加入時年齢	年金月額	掛金月額
	25歳0月	20,000円	8,370円		25歳0月	20,000円	9,780円
	30歳0月	20,000円	10,170円		30歳0月	20,000円	11,880円
	35歳0月	20,000円	12,710円		35歳0月	20,000円	14,850円
	40歳0月	15,000円	12,405円		40歳0月	15,000円	14,490円
	45歳0月	15,000円	17,235円		45歳0月	15,000円	20,115円
女性	50歳0月	10,000円	17,940円	女性	50歳0月	10,000円	20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問合せください!!

日本の保険は、ジャパンが変える。

お客様ひとりひとりのカーライフに対応する補償内容を可能にしたニーズ細分型自動車保険「ONE-do」やインターネットによる契約と行き先別にリスクを細分することなどで保険料最大40%（アジア旅行の一例、損保ジャパン現行商品（海外旅行総合保険）との比較）の割引を実現した新・海外旅行保険「off!（オフ）」など。あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。

21世紀、日本の新しいライフスタイルにあった高品質の安心を力強くご提供します。



損保ジャパン

※損保ジャパンは、第一生命と包括業務提携しています。
※ニーズ細分型自動車保険「ONE-do」は「革新・自動車総合保険」の
ペットネームです。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL. 03(3349)3111
ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>

SJ05-12524 (2006.3.1)

日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入
できます！

日整協同組合「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます！！

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで
「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！

「柔道整復師業務」

（柔道整復師特約）

「院内施設の不備」

（施設危険担保特約）

「院内施設でのケガ見舞金」

（傷害見舞費用担保特約）

任意オプションプラン（任意に1つからでも選択できます）

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！

①「鍼灸師などの業務」

（はり師、きゅう師
あん摩・マッサージ・指圧師特約）

②「日常生活」

（個人賠償責任保険）

③「個人情報漏えい」

（個人情報取扱事業者保険）

*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

総合補償制度（所得補償・医療補償等）

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します！！

毎月ご加入
できます！

（所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険）

40%割引！

（団体割引20%＋過去の損害率による割引25%）

日整協同組合
ならではの
割引です！

（団体長期障害所得補償保険）

20%割引！

（団体割引20%）

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>



株式会社 損害保険ジャパン

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

営業開発第二部 第二課

(TEL)03-3593-6453 (FAX)03-3593-6751

<取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F

(TEL)027-255-3233 (FAX)027-280-4659

SJ13-06178 (2013.9.3)

あなたとご家族の安心のため アフラックのがん保険・医療保険 準備されてはいかがですか？

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数

平成25年版「インシュアランス生命保険統計」

★★★★★
No.1

生きるための がん保険 Days

特長 1

入院はもちろん、三大治療
(手術・放射線・抗がん剤) による通院は
日数無制限で保障

特長 2

抗がん剤治療は通算 600 万円
まで保障

特長 3

プレミアサポートで、がん専門相談
サービスを利用できます

(サービス提供事業者: 株式会社)

《スタンダードプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年)

診断給付金	がんの場合		上皮内新生物の場合	
	一時金として (それぞれ1回限り)	100 万円	10 万円	
入院給付金	1日につき	1 万円	1日につき	1 万円
	1回につき	20 万円	1回につき	20 万円
手術治療 給付金	1回につき	20 万円	1回につき	20 万円
	1回につき	20 万円	1回につき	20 万円
抗がん剤治療 給付金 *	抗がん剤治療を受けた月ごとに			
	1ヵ月	10 万円 給付倍率2倍	1ヵ月	5 万円 給付倍率1倍

一生
生涯
保障

10
年
満期
(自動更新)

* 上皮内新生物は対象外

ちゃんと応える 医療保険 NEVER

特長 1

がんを含む病気やケガの保障が
一生継続

特長 2

5 日未満の入院の場合、一律
5 日分の入院給付金をお支払い
一定期間内に再入院した場合の入院給付金のお支払い
についてはパンフレットをご確認ください。

特長 3

退院後 120 日以内の通院と
入院前 60 日以内の通院を保障

《通院ありプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間: 終身

疾病入院給付金 災害入院給付金		日帰り入院から入院 5 日目まで		入院 6 日目以降	
		一律 5 日分	5 万円	1 日につき	1 万円
手術 給付金	手術	入院あり（重大手術を除く） 1 回につき		入院なし（重大手術を除く） 1 回につき	
	重大手術	10 万円		5 万円	
		がんに対する開頭・開胸・開腹手術や心臓への開胸術など		1 回につき	40 万円
放射線 治療給付金				1 回につき	10 万円
疾病通院給付金 災害通院給付金				1 日につき	6,000 円

一生
生涯
保障

● 入院給付金日額については、契約年齢、ご職業などによりアフラック基準の限度額を定めております。

プラス

どちらの保険も『先進医療の保障』をプラスできます！

アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する
先進医療の特約は、被保険者お 1 人につき通算し
て 1 特約のみのご契約となります。

保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症 (対象となる疾患・症状等) および実施する医療機関が
限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

詳細につきましては、パンフレット (契約概要) をご覧ください。

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

資料請求は
こちらまで

募集代理店

国際保険株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F



0120-5931-98

フリーダイヤル 営業時間 平日 (月～金) 9:00～17:15

引受保険会社

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 17 階
当保険に関するお問合せ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95

AF271-2014-0037 3月5日(160305)

誰でも簡単!安心!刺さない鍼!

**刺さない
から安心!**

世界でも奇跡の
凸部として大好評!

**誰でも簡単!
鍼療法!**

鍼と同様の効果が
得られます。

**貼るだけで
指圧効果!**

先端部
5kg/cm²



●一般用
プチバン1箱

1シート(60粒)×30シート入

16,970円(税込)



●院内処方用
ロイヤルトップ1箱

300粒入り

2,570円(税込)

届出番号 27B2X00095000001 器80 はり又はきゅう用器具

一般医療機器 家庭用貼付型接触粒 71026000

※“プチバン”は一般のお客様への販売用の商標であり製品の品質はロイヤルトップと同じです

成分 ステンレス MADE IN JAPAN

小さなステンレス粒に3つの特長!

特長1

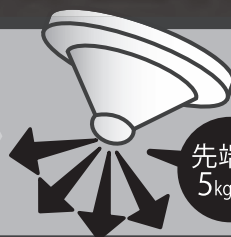
**誰でも簡単!安心!
貼るだけです。**

厚生労働省認可商品である「ロイヤルトップ®」は鍼ではありませんので、何らの資格も要りません。患者さんにも、不安感や恐怖感等を与えることなくご使用いただけると共に形状が小さい(直径4mm)ので、指先や耳・目の周りにも容易に安心して貼っていただくことができます。

特長2

ロイヤルトップは皮膚に効果的な指圧が加えられるように形状が工夫されています。

先端部で
5kg/cm²の
指圧効果



先端部
5kg/cm²

丸みを帯びた先端が5kg/cm²の指圧効果をくび・肩・腰のコリに微量の刺激を与え続け、置鍼と同様の効果が得られます。

特長3

世界でも奇跡の凸部として大好評!

首・肩・腰のコリからくる痛みをやわらげます。

Royaltop®



ロイヤルトップ®

成分 ステンレス MADE IN JAPAN

承認番号: 15000BZZ01601000

器80

はり又はきゅう用器具

管理医療機器

家庭向け鍼用器具

34675002



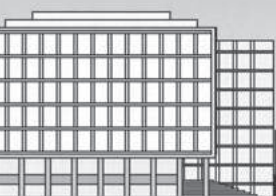
和光電研株式会社

〒581-0039 大阪府八尾市太田新町1-33 TEL:072-948-1551 FAX:072-948-1368

ホームページ <http://www.wakohdenken.co.jp>

20140205

HANADA GAKUEN



TAU 東京有明医療大学

- ☐ 保健医療学部（鍼灸学科／柔道整復学科）
- ☐ 看護学部（看護学科）

附帯教育 ※保健医療学部のみ

（公財）日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナーコース
（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者養成校 健康運動実践指導者コース

- ☐ 大学院（修士課程）
 - ・保健医療学研究科（鍼灸学研究科／柔道整復学研究科）
 - ・看護学研究科

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号 Tel.03-6703-7000
りんかい線「国際展示場」または「東雲」駅より徒歩約12分
ゆりかもめ「有明テニスの森」駅より徒歩10分

<http://www.tau.ac.jp>



厚生労働大臣認定・指定

日本鍼灸理療専門学校 日本柔道整復専門学校

- ☐ 本科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科（昼3年・夜3年）
- ☐ 専科 鍼灸科（昼3年・夜3年）
- ☐ 柔道整復科（昼3年・夜3年）

附帯教育

（公財）日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナー専攻科

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20番1号 Tel.03-3461-4787
「渋谷」駅 南改札西口より徒歩5分

<http://www.hanada.ac.jp>



医療人の原点へ
現代医療の未来へ

公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD

三井住友海上

柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款)

昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを
柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

保険期間: 毎年 11 月 1 日から1年間

募集期間: 8月中旬～10月下旬(詳細決定次第ご案内)

【特徴】

- 日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- 地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- 患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間: 毎年 8 月 1 日から1年間

募集期間: 6月中旬～7月中旬(詳細決定次第ご案内)

【特徴】

- 仕事中、私用中の病気・ケガで休診された時の収入を補償します。
- 保険料は**40%割引**であり、個人でご契約されるよりお得です。

(団体割引^(注1)20%+損害率による割引^(注2)25%)

(注1) ご加入いただいた被保険者数によって決定されます。

(注2) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。

なおこれらの割引率は平成 25 年に保険期間を開始した契約のものです。

※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会団体所得補償保険のすすめ」「柔道整復師会総合賠償保険のすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

<団体窓口>

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

<引受保険会社>

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

<主要取扱代理店>

株式会社ウーベル保険事務所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュートンビル 8F

TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

三四郎くんは、 日本全国で最も多く使われている 接骨院・整骨院専用のレセコンです!



使い勝手の良い操作性はもちろん、
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



オプションで
さらに便利!



保険証リーダー



バーコードシステム



サーマルプリンタ

超音波画像観察装置ラインナップ



サムスン電子ジャパン
UGE0 PT60A
医療機器認証番号:
第225AABZX00209000号

本多電子
HS-2100
医療機器認証番号:
第220AABZX00349000号



サムスン電子ジャパン
MySono U6
医療機器認証番号:
第224AFBZX00078000号

日立アロカメディカル

Noblus

医療機器認証番号:
第224ABBZX00092000号



その他、様々な機種を取り揃えております。

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

本社 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸 748-2 沼尻産業ビル
営業所 札幌、青森、仙台、北陸、長野、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

Web <http://www.sanshiro-net.co.jp/>

Tel 029-839-0346

Fax 029-838-0874

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース <http://www.jusei-news.com/>



柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓つものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽す。